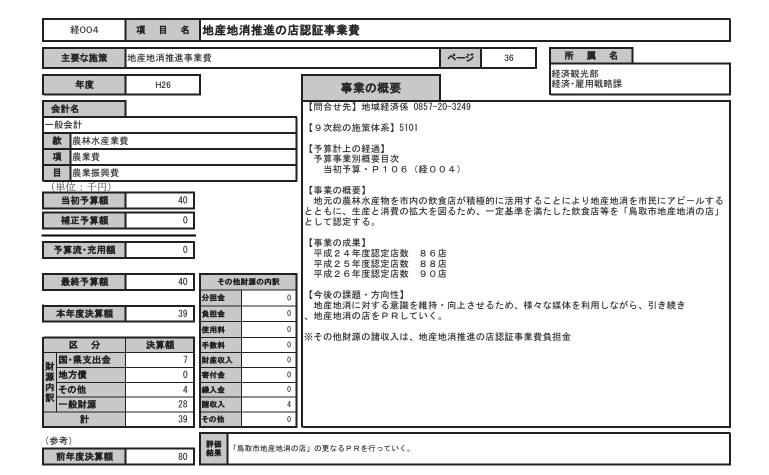
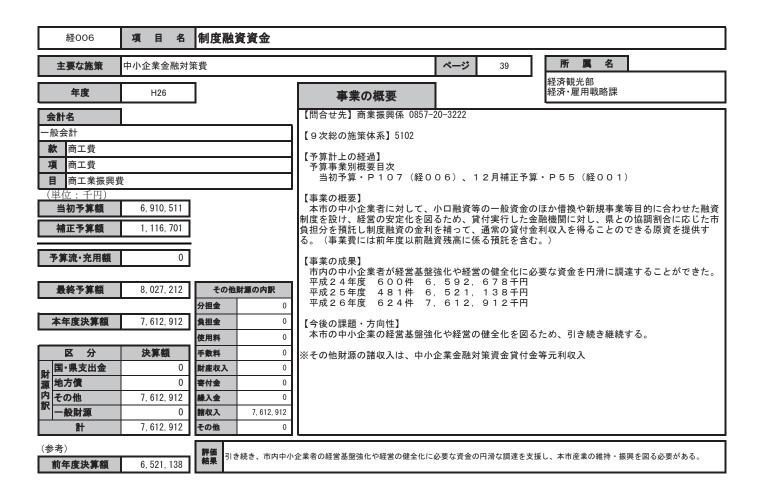
経001 目 シルバー人材センター運営補助金 項 名 名 所 シルバー人材センター助成費等 ページ 主要な施策 29 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 会計名 - 般会計 【9次総の施策体系】5104 款 民生費 【予算計上の経過】 項 社会福祉費 予算事業別概要目次 当初予算·P105(経001) **目** 老人福祉費 当初予算額 高齢者の意向に応じた臨時的・短期的な就業機会の提供を行う(公社)鳥取市シルバー人材センターの経営の安定を図り、就業による高齢者の積極的な社会参加を通じ、高齢者の生きがいづくりを創出するため、センターの運営に要する経費に対して補助を行う。 11, 180 補正予算額 0 【事業の成果】 (補助額の推移) 予算流·充用額 0 平成24年度 11,180千円 平成25年度 11,180千円 平成26年度 11,180千円 11, 180 その他財源の内訳 最終予算額 【今後の課題・方向性】 分担金 0 「団塊の世代」の労働市場からの引退や少子化・核家族化が進むなかで、高年齢者の多様な就業ニーズに対応した就業機会の創出や高年齢者の生きがいの創出により、地域社会を活性化させているシルバー人材センターの事業を引き続き支援していく。 本年度決算額 11, 180 負担金 0 0 使用料 0 区分 決算額 手数料 国-県支出金 0 財産収入 0 0 地方債 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 11, 180 諸収入 0 -般財源 11, 180 その他 計 (参考) 高齢者の能力の積極的な活用や社会参加推進の中核的組織である鳥取市シルバー人材センターの運営について、引き続き支援を行っていく。 前年度決算額 11, 180

経002	項目名	観光地おも	てなし珍	環境改善事業費			
主要な施策	シルバー人材セン	ノター助成費等		ページ 29 所 属 名			所属名
年度	H26]		事業の概要			経済観光部 経済·雇用戦略課
会計名				【問合せ先】雇用政策係 0857-2	20-3134		
一般会計				【9次総の施策体系】5104			
款 民生費 項 社会福祉費 目 老人福祉費				【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P105(経0	02)		
(単位:千円) 当初予算額 補正予算額	4, 502						り、観光客の「イメージアップ」の増進と やまちなかの美化活動業務を(公社)シル
予算流·充用額	0			【事業の成果】 平成24年度:7,524千 平成25年度:7,300千 平成26年度:4,502千	Ψ		
最終予算額 本年度決算額	4, 502	その他財源の 分担金 負担金 使用料	の内訳 0 0 0	〇平成26年東末 事業従 ○平成26年度事業 事業従 ①調整事務に係る事務(事 ②ポイ捨てパトロール・美 ③砂の美術館内清掃に係る: ④観光イベント来場客整理	事者数 2 2 業推進員 1 化に係る第 業務 9 名	名雇用) 美務 7名(3 名(延べ58	延べ604人)
区分	決算額	手数料	0	┃ 【今後の課題・方向性】			
国・県支出金	0	財産収入	0	シルバー人材センターの更な			への業務の開拓などを促進する必要があり、
原地方價	0	寄付金	0	平成27年度より新たな事業へ移行する。			
内 その他	0	繰入金	0				
*` 一般財源 計	4, 502 4, 502	諸収入	0				
(参考)	4, 002						
前年度決算額	7. 300	評価 高齢化等 結果 必要があ		い、シルバー人材センターの役割はます	ます重要とな	いており、更な	なる会員の拡大、新分野への業務の開拓などを促進する

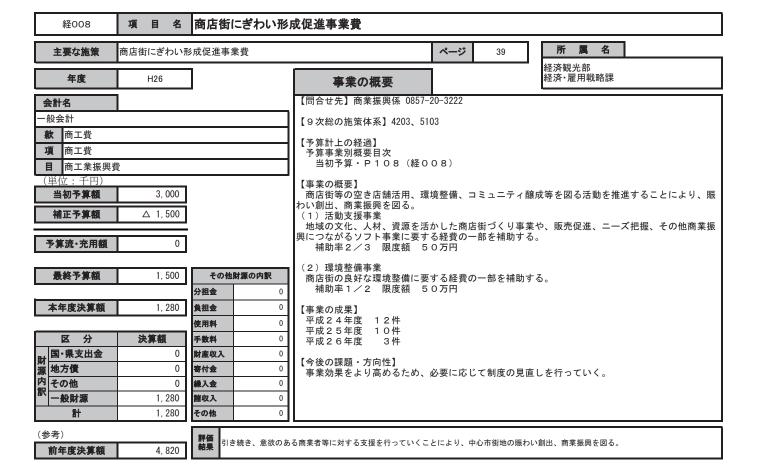
経003 項目名 食	食育アドバイザー派	後事業費
主要な施策 地産地消推進事業費	ŧ.	ページ 36 所 属 名
年度 H26		事業の概要 経済・雇用戦略課
会計名		【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249
一般会計		【9次総の施策体系】5101
款 農林水産業費		【予算計上の経過】
農業費		予算事業別概要目次
目 農業振興費		当初予算・P106(経003)
(単位:千円) 当初予算額 307 補正予算額 0 予算流・充用額 0		【事業の概要】 ハ・中学生、保育園児・保護者や市街地の消費者が、農林水産物や地域の食材を使った伝統料理 に対する理解を深めることにより地産地消を推進する。 優れた技術を持つ農林水産業者、農産物加工・地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる 人たちを「食育アドバイザー」として選定し、小・中学校や地区公民館が開催する料理教室など食育に関する研修会に講師として派遣し、食と農林水産業への理解を深める。 食育アドバイザー謝礼:派遣1回当たり:講演10千円/人、農林水産物加工・料理講習5千円/人
最終予算額 307	その他財源の内訳	【事業の成果】
	· 担金 0	平成24年度 登録人数30人 派遣回数64件 参加人数1,773人 平成25年度 登録人数26人 派遣回数60件 参加人数1,029人
本年度決算額 296 負	1担金 0	平成26年度 登録人数21人 派遣回数57件 参加人数 957人
	[用料 0	【今後の課題・方向性】
	· 数料 0	引き続き事業を継続し、地元食材を活用した伝統料理等への理解を深め、地産地消意識の醸成を
[H] —	産収入 0	図る。
MAX CT CT	付金 0	
記	(人金 0 flux 0 flux flux flux flux flux flux flux	
1840773 1801	· の他 0	
(参考)	100 /200	遣制度利用を促し、地元食材を使った伝統料理等に対する理解を深め、地産地消の促進を図る。



経005 項 目 名 中小企業勤労者福祉サービスセンター運営補助金 所 名 ページ 主要な施策 中小企業勤労者福祉サービスセンター事業費 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5104 商工費 款 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P107(経005) 目 商工業振興費 事業主・勤労者・行政が一体となって、相互扶助を基本理念に充実した福利厚生制度を確立し、中小企業勤労者の福祉の向上を図るとともに、中小企業の振興及び地域社会の活性化に寄与するため、(一財)鳥取市中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営費及び事業費の補助を行う。 当初予算額 10.700 補正予算額 0 【事業の成果】 予算流·充用額 0 | 平条の成本| 中小企業福祉事業費(管理運営費及び事業費)補助 平成24年度 10,700千円 平成25年度 10,700千円 平成26年度 10,700千円 10, 700 その他財源の内訳 最終予算額 分担金 0 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 10, 700 負担金 0 マール企業の振興及び地域社会の活性化に寄与するため、引き続き補助を行っていくとともに、運営改善・事業の効率化・自主財源の確保について働きかけていく。 0 使用料 区 分 決算額 手数料 0 国·県支出金 0 財産収入 0 地方債 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 -般財源 10, 700 諸収入 0 計 10, 700 その他 (参考) 中小企業における勤労者の福祉の増進を図るため、引き続きサービスセンター事業の運営に要する経費を補助していく。 10, 700 前年度決算額

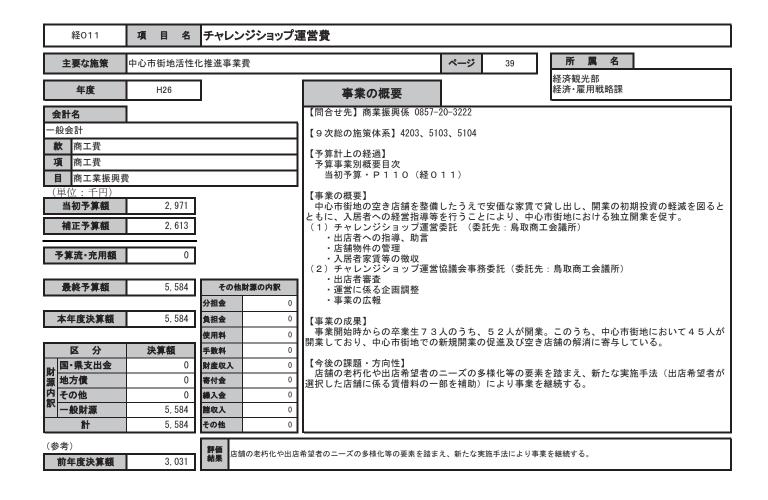


経007 項目名 小規模事業者経営	改善資金利子補助金
主要な施策 中小企業金融対策費	ページ 39 所 属 名
年度 H26	事業の概要 経済・雇用戦略課
会計名 一般会計 軟 商工費 項 商工費 目 商工業振興費 (単位:千円) 当初予算額 3,201 補正予算額 0 予算流·充用額 0	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 【9 次総の施策体系】5102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P108(経007) 【事業の概要】 日本政策金融公庫の融資制度である小規模事業者経営改善資金(マル経融資)を利用した事業者(こ対し、2年間、その利子相当額の2分の1を補助する。 【事業の成果】※支援件数及び支援額 平成25年度 46件 839,867円 平成26年度 108件 1,736,334円
最終予算額 3,201 本年度決算額 1,736 本年度決算額 1,736 区分 決算額 国・県支出金 0 財産収入 0 市付金 0 市の他 0 その他 0	【今後の課題・方向性】 利用実績や商工会、商工会議所等の意見を伺いながら、継続の可否を検討する。
(参考) 評価 前年度決算額 840 評価 結果	延長要望のあった制度であり、制度実績等を勘案しながら継続の可否を検討する。



経009 項目 大型空き店舗対策事業費 名 所 商店街にぎわい形成促進事業費 ページ 主要な施策 39 経済観光部 経済・雇用戦略課 年度 H26 事業の概要 【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 会計名 - 船수計 【9次総の施策体系】4203、5103、5104 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P109(経009) **目** 商工業振興費 当初予算額 13.800 空き店舗の中でも、特にまちの景観やイメージを損なう大型空き店舗の解消を推進することによ り、中心市街地の賑わい創出、商業振興を図る。 (1) 商店街テナントマッチング事業(受託者:鳥取市中心市街地活性化協議会) 対象物件の調査、活用方策の検討、出店意欲のある事業者の掘り起こし、連絡・調整等の業務を 補正予算額 △ 6,000 予算流·充用額 0 受机 (2) 大型空き店舗入居促進補助金 上記(1) の事業により、当該物件への入居が内定した事業者等に対し、商業施設等としての活用に要する経費の一部を補助する。 ①補助対象経費 賃借料、店舗改装費、広告宣伝費など ②補助率 3/4 限度額 300万円 店舗面積35坪以上 最終予算額 7, 800 その他財源の内訳 分担金 0 本年度決算額 7, 800 負担金 0 【事業の成果】 平成24年度 3件 0 使用料 平成25年度 決算額 0 区分 手数料 平成26年度 国·県支出金 0 0 財産収入 【今後の課題・方向性】 地方債 0 0 寄付金 事業効果をより高めるため、必要に応じて制度の見直しを行っていく。 0 その他 0 繰入金 一般財源 7, 800 諸収入 0 7, 800 その他 計 (参考) 引き続き、民間事業者等に対し必要な支援を行っていくことにより、中心市街地での大型空き店舗の解消による賑わい創出と商業活性化を図っ ていく。 前年度決算額 8, 000

経010 項目:	商店街イベント助品	或事業費
主要な施策 商店街イベント	助成事業費	ページ 39 所属名
年度 H26		事業の概要 経済·雇用戦略課
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 商工業振興費 (単位:千円) 当初予算額 6,49		【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 【9次総の施策体系】4203、5103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P109(経010) 【事業の概要】 商店街振興組合等が実施するイベント開催等を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、
111111111111111111111111111111111111111	その他財源の内釈	商業振興、地域コミュニティの醸成を図る。 (1) 商店街イベント開催支援事業事務事業 商店街振興組合等が実施するイベント開催等に係る申請書の受付、指導、審査会の開催等の業務を委託 (2) 商店街振興組合等が実施するイベント開催等に要する経費の一部を補助する。 ①補助対象経費:謝金、旅費、会場借上料など ②補助率4/5 限度額80万円
本年度決算額 4,90 区 分 決算額	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手敷料 0	【7後の味ぬ 7月円圧】
B - **	諸収入 0	平成26年度で終了し「商店街にぎわい形成促進事業 (1) 活動支援事業」に統合する。
(参考) 前年度決算額 6,43	評価	7





経013 目 街中・子育てにぎわい創出事業費 項 名 所 ページ 主要な施策 中心市街地活性化推進事業費 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 会計名 - 船수計 【9次総の施策体系】4203、5103、1101 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P111(経013) **目** 商工業振興費 ・ 商店街の中心に位置する空き店舗を活用し、乳幼児とその保護者、高齢者など幅広い世代が交流することのできる施設を運営することにより、中心市街地の賑わい創出及び商業振興を図る。 当初予算額 7.300 補正予算額 0 【事業の成果】 予算流·充用額 0 ■年間利用者数 7, 300 その他財源の内訳 最終予算額 平成24年度 34,691人 平成25年度 35,372人 平成26年度 32,858人 分担金 0 本年度決算額 7, 300 負担金 0 【今後の課題・方向性】 0 使用料 現在の施設機能を新たに整備するコミュニティ・ステーションに移転・拡充するにあたり、補助 0 区分 決算額 手数料 事業としての当該事業は終了する。 国·県支出金 0 財産収入 0 0 地方債 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 7, 300 諸収入 0 -般財源 7, 300 その他 計 (参考) 事業主体が国の補助金を活用し、現在の施設機能を新たに整備するコミュニティ・ステーションに移転・拡充するにあたり、補助事業としての 当該事業は終了する。 前年度決算額 7, 300

	経014	項 目 名 経済再生・雇用創造戦略推進費							
	主要な施策	地域経済活性化化	足進事業費			ページ	39	所属名	
	年度	H26]		事業の概要			経済観光部 経済·雇用戦略課	
4	会計名				【問合せ先】地域経済係 0857-	20-3249			
<u> </u>	般会計				【9次総の施策体系】5102				
	数 商工費				【予算計上の経過】				
_	■ 商工業振興費 商工業振興費	E .			予算事業別概要目次 6月補正・P32(経00	3)			
	単位:千円) 当初予算額 補正予算額	1, 405						開を確保するため、鳥取市経済再生・雇用 生・再構築を図りながら雇用創造を強力に	
:	予算流•充用額	△ 137			【事業の成果】 戦略等に基づく雇用創出数 平成26年度 2,441人				
	最終予算額	1, 268	その他 分担金	財源の内訳	【今後の課題・方向性】 地域・経済活動に活発に取り	組んでいる	る青年経済人と	: の連携を強化しながら、地域経済の状況や	
	本年度決算額	976	負担金	0	企業ニーズに対応した経済・雇	用施策・導	事業を推進する	0.	
			使用料	0					
	区 分	決算額	手数料	0					
財	国•県支出金	0	財産収入	0					
源	地方價	0	寄付金	0					
内訳	その他	0	繰入金	0					
m/c	一般財源	976	諸収入	0					
	ā†	976	その他	0					
		0			創造・経済再生戦略」を基に、地域経済 青年経済人と連携を強化し、本市の経済			た施策・事業を進めるため、更に地域・経済活動を活	

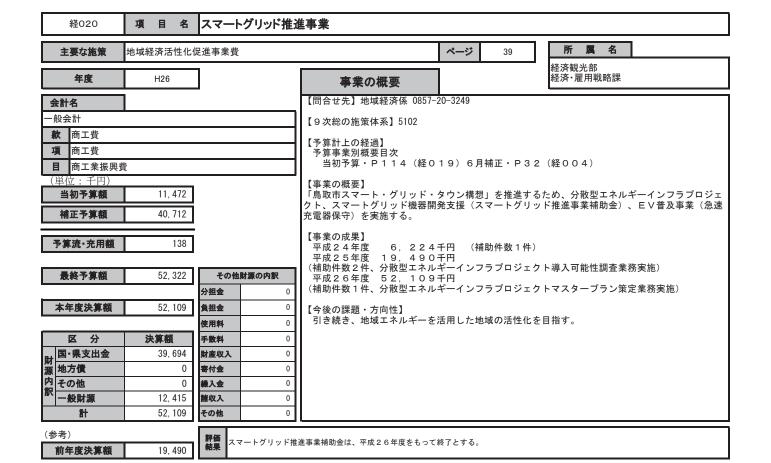
鳥取市トライアル発注事業 経015 目 名 所 名 主要な施策 地域経済活性化促進事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P111(経015) **固** 商工業振興費 中小企業や大学発ベンチャーによる新商品開発における販路開拓を支援することにより、本市における新産業の育成や経済の活性化を図る。 当初予算額 1.500 ロの利用は大い自然では何い方は正と凶る。 市内で製造される優れた新商品等について、鳥取市が積極的にPRを行うとともに、必要に応じ 補正予算額 0 て優先的に購入する。 中小企業、協同組合、生産者団体 など 〇対象者 予算流·充用額 0 〇限度額 100万円 【事業の成果】 1, 500 その他財源の内訳 最終予算額 4製品1,971千円 3製品1,500千円 平成24年度 平成25年度 分担金 0 平成26年度 4製品1,499千円 本年度決算額 1, 499 ٥ 負担金 【今後の課題・方向性】 使用料 0 平成26年度をもって終了する。 区分 決算額 手数料 0 国・県支出金 0 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 諸収入 -般財源 1, 499 0 1, 499 計 その他 (参考) これまでの実績を検証・評価する必要がある。 前年度決算額 1, 500



経017 目 名 環日本海経済交流推進事業費 所 主要な施策 地域経済活性化促進事業費 ページ 39 経済観光部 経済・雇用戦略課 年度 H26 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5401 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要日次 当初予算·P112 (経016) 目 商工業振興費 当初予算額 14.882 補正予算額 0 予算流·充用額 0 でのアンテナショップの支援等を行う。 14, 882 その他財源の内訳 最終予算額 【事業の成果】 第10回中国延吉・図們江地域国際投資貿易フェアへの出展 分担金 ロシアウラジオストク市チャーター便による経済・観光団派遣・商談会の開催 ロシアウラジオストク市主催第1回アーバンフォーラムへの参加・発表 本年度決算額 13, 372 負担金 0 鳥取市国際経済発展協議会が運営する環日本海経済交流センターでの貿易相談・サポート、外 使用料 国関係者・機関等とのマッチング及び翻訳・通訳業務支援等の実施 区分 決算額 手数料 0 環日本海等アンテナショップ支援事業により1件のアンテナショップ運営を支援 国·県支出金 0 財産収入 0 地方債 0 寄付金 0 本市の経済発展を推進するため、引き続き関係各都市と緊密な連携を保ちつつ、「環日本海地 0 域」を含めた海外での具体的な貿易振興・観光客誘致の施策を実施していく。 その他 0 繰入金 -般財源 13, 372 諸収入 0 13, 372 その他 (参考) 市内企業・事業者及び市内経済・観光団体、貿易関係機関、金融機関、県・市等との緊密な連携のもとに、環日本海地域ほか海外における具体 的な貿易振興、観光客誘致の施策の検討・実施に取組み、経済・観光交流の一層の活発化を図ることにより、本市の経済発展を推進する。 7, 632 前年度決算額



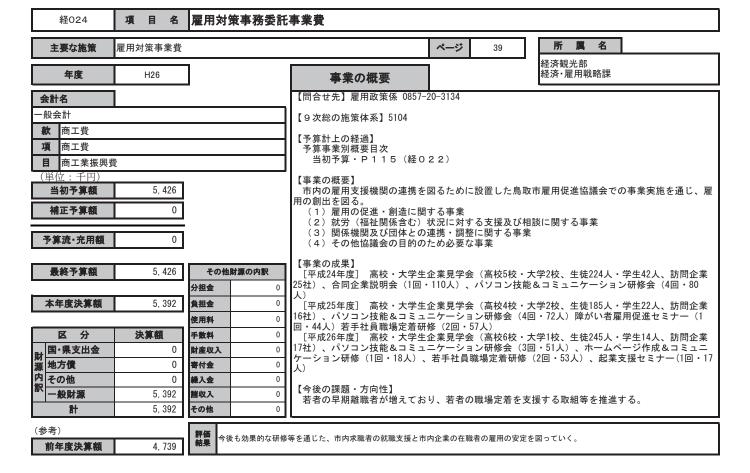
食ブランド創出推進事業 経019 目 名 所 名 主要な施策 地域経済活性化促進事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済•雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P113(経018) **固** 商工業振興費 当初予算額 2. 738 鳥取市の「食」に焦点を当て、地元食材を活用した料理講習会や地元料理人の研修会の開催、ジ 馬取巾の「賃」に焦点を当て、地元賃材を活用した料理講省会や地元料理人の研修会の開催、シビエ肉を身近に感じてもらうための普及啓発やジビエメニューの開発等を戦略的に行う。また、新メニューとして開発された「塩鯖どんぶり」を鳥取のご当地メニューとして発信していくためのイベント開催やHPの開設などを行い、全国へその活動を発信することにより、本市の食を核とする地域ブランドの強化・充実を図り、本市の地域経済活性化(観光産業の振興、物産振 補正予算額 0 予算流·充用額 0 興、雇用創出)につなげていく。 【事業の成果】 2, 738 その他財源の内訳 (1年本の)が、 (1)地元食材「塩鯖」に焦点を当て、食への関心を高めるための新メニュー開発を行うとともに、ノ ルウェー大使館参事官を招待し、「塩鯖サミット」を開催 最終予算額 分担金 0 ②WCC2014inTOTTORI実行委員会を立ち上げ、全国ご当地ちゃんぽん連絡協議会に加盟する15団体とともにサミットを開催 ③ジビエ肉の販売促進・情報発信・飲食店マップの作成、ジビエフェアを開催 本年度決算額 2, 737 Ω 負担金 使用料 0 区分 決算額 手数料 0 【今後の課題・方向性】 引き続き、イベント等を通して地元食材の新メニューの開発を促進するとともに、活用方法等を PRし、食を活かした地域の活性化を図る。 国・県支出金 300 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 2, 437 -般財源 諸収入 0 計 2, 737 その他 (参考) イベント等の開催により新たな地元食材の活用も進みつつあり、平成27年度は引き続き事業を継続する。 2, 678 前年度決算額



経021 項目 名 農商工連携マッチング事業 所 地域経済活性化促進事業費 ページ 主要な施策 39 経済観光部 経済·雇用戦略課 年度 H26 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P114(経020) **目** 商工業振興費 当初予算額 4, 846 企業と農林水産業者等とのマッチングを行い、農商工連携、6次産業化を推進することにより、 地域経済の活性化を図る。 補正予算額 0 【事業の成果】 ・平成2 4 年度 4,767千円(マッチング企業数12企業) 平成25年度 4,767千円(マッチング企業数19企業) 平成26年度 4,846千円(マッチング企業数21企業) 予算流·充用額 0 最終予算額 4, 846 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 引き続き、事業者と生産者のマッチング、商品化及び販路拡大のための専門家のアドバイス、各支援機関とのネットワークの構築、市場調査等を行い、農商工連携、6次産業化等を推進することにより、本市経済の活性化を図る必要がある。 分担金 0 本年度決算額 4, 846 負担金 0 0 使用料 決算額 0 区分 手数料 国-県支出金 0 0 財産収入 地方債 寄付金 0 0 その他 0 0 繰入金 一般財源 4, 846 諸収入 0 4, 846 その他 計 (参考) 前向きに取り組む企業をサポートすることで、よりよい商品開発・改良が進められており、相乗効果も生まれているため、引き続き事業を継続 していく。 前年度決算額 4, 767

経022 項 目 名	プレミアム付き商品	場券発行事業費(地域住民生活等緊急支援のための交付金活用事業)
主要な施策 地域経済活性化	促進事業費	ページ 39 所属名
年度 H26]	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名 一般会計 款 商工費		【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 【9次総の施策体】4203、5103
項 商工費 目 商工業振興費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 2月補正予算・P2(経001)
(単位:千円) 当初予算額 0 補正予算額 200,000	 	【事業の概要】 地元商店街が実施する割増付商品券(プレミアム付き商品券)発行事業を支援することにより、地元中小商業者等の販売意欲及び消費者の購買意欲を高めることで、地域経済の活性化を図る。(1)実施主体 鳥取市商店街振興組合連合会(協力:鳥取市三商工会連絡会)(2)販売額 10億円(額面総額12億円、プレミアム部分2億円:割増率20%)(3)1冊あたりの販売額 10,000円(額面12,000円)
予算流·充用額 0 最終予算額 200,000 本年序決算額 10,000	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0	(4)販売数 10万冊 (5)補助内容 ・プレミアム部分 1億8,000万円(9割) ・事務費 2,000万円 (6)取扱店舗 約630店舗 (7)購入上限額 1世帯あたり15万円 (8)利用期間 6カ月間
区分 決算額 III 10,000	賃担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0	【事業の成果】 平成27年度へ繰越(翌年度繰越額190,000千円) 【今後の課題・方向性】
財	寄付金 0 線入金 0 諸収入 0	国の緊急経済対策に呼応した事業のため、平成26年度で終了予定
計 10,000 (参考) 前年度決算額	その他 0 PM	呼応した事業のため、平成26年度で終了予定

職業紹介事業費 経023 項 目 名 所 名 主要な施策 雇用対策事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済•雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5104 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算 · P 1 1 5 (経 0 2 1) **固** 商工業振興費 当初予算額 4 558 職業紹介事業として、求職者へ職業斡旋や紹介を行い、雇用の促進を図るため、雇用・就労に関 する専門相談員を配置し、相談受付や求人開拓などにより、雇用機会の創出と求職者の就労支援を 補正予算額 0 行う。 ・。 雇用に関する情報の収集を行い、求職者に対して情報を提供するとともに、カウンセリング、企 業訪問による新規求人開拓などを実施し、より一層のマッチングを図る。 予算流·充用額 0 【事業の成果】 ≪平成27年3月末時点の就職及び登録状況≫ その他財源の内訳 4. 558 求職登録者数・・・477人 就職者数・・・453人 就職率・・・・・95.0% 最終予算額 訪問企業数・・・518社 登録企業数・・・469社 分担金 0 登録求人数・・・756人 本年度決算額 4, 353 ٥ 負担金 【今後の課題・方向性】 使用料 0 有効求人倍率は回復しつつあるものの、全国や他地域と比べるとまだ低い状況であり、引き続き 区分 決算額 手数料 0 新規求人開拓を積極的に行い、求人求職のマッチングを図る。 国・県支出金 0 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 -般財源 4, 353 諸収入 0 計 4, 353 その他 (参考) 平成26年度は、企業訪問の強化により登録企業数は目標を上回り、また就職率95.0%と成果があった。雇用情勢は緩やかに回復傾向にあるものの、今後は人材不足が課題であり、引き続き本事業は重要な役割を担っている。 4, 411 前年度決算額



経025 目 名 求職者教育訓練助成金 項 所 ページ 主要な施策 雇用対策事業費 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 会計名 - 船수計 【9次総の施策体系】5104 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P116(経023) **目** 商工業振興費 【事業の概要】 当初予算額 1,060 6 5 歳未満の求職者が、就職の促進を図るために必要な教育訓練を自己の負担で受ける場合にお いて、支給要件期間の制限で雇用保険からの給付対象とならないものに対し、教育訓練助成金を支給する。 補正予算額 0 ・受講料の1/2を補助(限度額 50千円) 予算流·充用額 0 【事業の成果】 平成24年度 15件・936千円 平成25年度 10件・257千円 最終予算額 1,060 その他財源の内訳 平成26年度 9件・366千円 分担金 0 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 425 負担金 0 利用者には子育てを終えて復職する際に資格を活かした仕事に就くことを目指す女性や、継続して働くことのできる仕事を目指す就職経験が少ない若年者が多いことから、今後も引き続き支援を 0 使用料 行い、雇用拡大につなげる。 決算額 0 区分 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 地方債 0 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 一般財源 425 諸収入 0 425 その他 計 (参考) 雇用保険法第60条の2に規定する教育訓練給付を受けることができない求職者のスキルアップやキャリアアップを支援する事業であり、国の 施策を補完し、更なる雇用促進を図るため、引き続き実施する。 前年度決算額 316

地方債	経026	項目名	とっとり若者イン	ターンシップ事業費(緊急雇用創出事業費)
##	主要な施策	雇用対策事業費		33
(日本)	年度	H26]	42 × = 0 × ma = 0
 数 商工費 日 商工業振興費 (単位:千円) 当初予算額 44.887 権正予算額 ○ 19.898 予算亦・允用額 ○ 24.989 本年度決算額 本年度決算額 20.529 (4) 奨励金 (5) 決算額 (4) 奨励金 (5) 大算額 (6) 受入事業所とのマッチングを図ることにより、地域経済を担う若年者の雇用創出と人材育成を進める。 (7) 対象者:満4 0歳未満の市内求職者 (2) 受入事業所とのマッチングを図ることにより、地域経済を担う若年者の雇用創出と人材育成を進める。 (3) 実習 の別間:3 か月以よ。 (4) 奨励金 ○実習 「担定公司の大きを習得するための職場体験実習を実施し、受入事業所とのマッチングを図ることにより、地域経済を担う若年者の雇用創出と人材育成を進める。 (3) 実習 の別間:3 か月以よ。 (4) 奨励金 ○実習 「ログラム等に沿って実施 (4) 奨励金 ○実習 「ログラム等に沿って実施 (4) 奨励金 ○実習生に対して日額2,000円を交付した事業者の必要は実習生は累計に24年度 登録事業所16社 登録実習生はスト うち実習終了者55人 うち就職者43人 125年度 登録事業所16社 登録実習生239人 うち実習終了者6人 うち就職者52人 126年度 登録事業所16社 登録実習生272人 うち実習終了者6人 うち就職者23人 126年度 登録事業所16社 登録実習生272人 うち実習終了者33人 うち就職者23人 126年度 登録事業所16社 登録実習生272人 うち実習終了者55人 うち就職者23人 126年度 登録事業所は126年度 登録事業所16社 登録実習生272人 うち実習終了者6人 うち就職者23人 126年度 248年度 2	会計名	1		【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134
項 商工費 一方算 一方面 一面 一	一般会計	•		【9次総の施策体系】5104
南工業 南工業 南工業振興費 本4,887 本年度決算額	款 商工費			【圣管社上の奴'思】
日本	項 商工費			予算事業別概要目次
当初予算額	目 商工業振興費	**************************************		当初予算·P116(経024)
横正予算額	(1 1 2 2 1 1 1 7 7		Ī	
横正予算額	当初予算額	44, 887		
大学 10 10 10 10 10 10 10 1	補正予算額	△ 19,898		と人材育成を進める。
大学館 24,989 24			<u> </u>	
その他財源の内配	予算流•充用額	0		(3) 実習 〇期間:3ヶ月以上
本年度決算額 20,529				
本年度決算額 20,529 12,525 12,525 13,525 13,525 14,524 14,544 15,544 16,544	最終予算額	24, 989		「事業の代用】 ソ 砂船事業 英五 が 砂船中 羽井 は用きし
区分 決算額 国・県支出金 2,242 地方債 0 その他 0 一般財源 18,287 計 20,529 ***********************************				● H24年度 登録事業所116社 登録実習生165人 うち実習終了者55人 うち就職者43人
区分 決算額 国・県支出金 2,242 地方債 0 老の他 0 一般財源 18,287 計 20,529 (参考) [今後の課題・方向性] 「採用意欲のある企業と求職者のマッチングを更に推進していく。 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	本年度決算額	20, 529		1120年度 豆蚜事業の103年 豆蚜天自工203人 フラ大田(17年100人 フラが、戦行32人
国・県支出金		N. Advide		<u> </u>
地方債		0.151.151	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
大の他 0 一般財源 18, 287 計 20, 529 *** その他 0 その他 0 その他 0 *** *** ** *** ** *** ** *** ** ** <t< td=""><td>財</td><td>-,</td><td></td><td><u> </u></td></t<>	財	-,		<u> </u>
	Water			<u> </u>
# 20,529	記 (1)	- ·		
「	12-4718 4461			- 11
「	(条本)			
	(参考) 前年度決算額	51, 593		と共に若年層の就職率は上昇したものの、職場定着率の低迷は深刻な状況が続いている。企業と共に人材を育成し、若年求職者 導く先進的事業として、今後とも指導・助成を続けていく。

鳥取市雇用創造戦略推進事業費(緊急雇用創出事業費) 経027 項 目 名 所 名 主要な施策 雇用対策事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5104 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算・P117(経025)、12月補正予算・P22(経005) **固** 商工業振興費 国の緊急雇用創出事業を活用し、公共性・公益性があり、先進的・モデル的な事業に取り組む民間事業者をプロポーザル方式により選考し、当該事業を提案者へ委託する。 (1)雇用創造のための先進的・モデル的事業:16事業 当初予算額 375, 500 補正予算額 △ 180, 446 (2) 事業委託実施期間: 平成26年4月~平成27年3月 (3) 財源内訳: 国費 10/10 ※緊急雇用創出事業(起業支援型・地域ひとづくり) 予算流·充用額 0 【事業の成果】 雇用創出数:56人(うち事業終了後の継続雇用:47人) その他財源の内訳 195.054 最終予算額 【今後の課題・方向性】 分担金 0 国の緊急雇用創出事業の終了に伴い、平成26年度で終了する。 本年度決算額 194, 321 0 負担金 使用料 0 区分 決算額 手数料 0 国・県支出金 194, 321 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 -般財源 0 諸収入 0 194, 321 その他 (参考) 国の緊急雇用創出事業の終了に伴い、平成26年度で終了する。 前年度決算額 307, 933



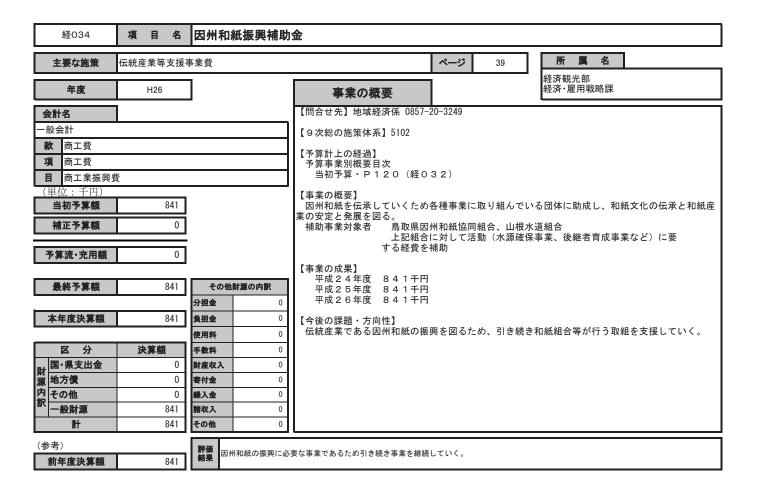
経029 項目 名 「快適・環境都市 鳥取」雇用創造プラン人材育成研修受講奨励金 所 名 ページ 主要な施策 雇用対策事業費 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5104 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P118(経027) **目** 商工業振興費 当初予算額 鳥取市雇用創造協議会が国の「実践型地域雇用創造事業」の採択を受け、平成24年12月から 20. 224 局取巾雇用側直協議芸が国の「美域空地域権用側延争業」の体がで来げ、下版とサギュと内がで 平成27年3月末までの間で事業を実施。その中で、地域の求職者の就職のためのスキルアップを 図ることを目的とした「人材育成メニュー」を実施するにあたり、受講奨励金を交付することに よって受講者(求職者)の生活安定を図り、メニューの受講に専念できる環境を整えることで、効 果的なスキルの習得と受講終了後のスムーズな就職に繋げる(奨励金(最高3,530円(日 補正予算額 △ 10, 587 予算流·充用額 0 額))を交付)。 【事業の成果】 最終予算額 9, 637 その他財源の内訳 雇用保険の支給を受けていない受講生に対して交付 平成 2 4 年度 1, 1 4 1 千円 (18件) 平成 2 5 年度 5, 5 9 1 千円 (9 0 件) 分担金 0 本年度決算額 8, 782 負担金 0 平成26年度 8,544千円(121件) 0 使用料 【今後の課題・方向性】 決算額 0 区分 手数料 実践型地域雇用創造事業の終了に伴い、平成26年度で終了する。 国-県支出金 0 0 財産収入 地方債 寄付金 0 0 0 その他 0 繰入金 一般財源 8, 782 諸収入 0 8, 782 その他 計 (参考) 実践型地域雇用創造事業の終了に伴い、平成26年度で終了する。 前年度決算額 17, 334

経030	項目名	企業が	求める人材	確保推進事業費
主要な施策	雇用対策事業費			ページ 39 所 属 名
年度	H26]		事業の概要 経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名 一般会計	1			【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134 【9 次総の施策体系】5104
款 商工費 項 商工費				【予算計上の経過】 予算事業別概要目次
目 商工業振興 (単位:千円) 当初予算額	3,000			当初予算・P118(経028) 【事業の概要】 市内企業の大規模事業再編により離職した多くの優秀な人材や市内学生の県外流出といった現
補正予算額	0	-		状、並びに本市へ進出する企業が相次いでいる現状を踏まえ、それら進出企業や市内の既存企業の 産業人材の確保は喫緊の課題となっている。 それらの課題に対応するため、市内企業が求める人材を市内外から確保できる体制を整備しマッ チングを行うことにより、地元企業の活性化を図るとともに今後の企業誘致につなげていく。
予算流•充用額	3,000	7.04	財源の内訳	また、専属のコーディネーターを配置し、市内企業が求める人材に係る情報収集・分析等を行うとともに、市内企業のPR用パンフレット等の情報・ツールを使いながら、東京、大阪に配置された移住支援相談員と連携し県外在住者へ情報発信を行っていくことで、県外者の転入及び地元企業
取較了昇祖	3,000	分担金	O O	就職を促進する。併せて、市内大学等への市内企業PRを行うことで卒業生の地元就職の促進を図る。
本年度決算額	2, 901	負担金 使用料	0	【事業の成果】 平成26年度:鳥取市企業案内パンフレットを作成し、県内外の大学へ配布・PR
区 分	決算額	手数料財産収入	0	【今後の課題・方向性】 今後市内企業の求人が増加するため、より一層の県外求職者の呼び込みに取り組む必要がある。
源 地方債	0	寄付金	0	, C. 11 12 13 14 14 15 16 16 17 18 1
内 その他 一般財源	2, 901	繰入金 諸収入	0	
計	2, 901	間収入 その他	0	
(参考)		評価合	多市内企業の求人	、が増加するため、より一層の県外求職者の呼び込みに取り組む必要がある。
前年度決算額	0	結果 7	へ エネッかハ	スペースを、という、1日とスペインをはない。 (日本人)

経031 項目	名 鳥取市求人・求職	マッチング支援サイト運用事業費
主要な施策 雇用対策事	工業費	ページ 39 所 属 名
年度 H26	;	事業の概要 経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名		【問合せ先】雇用政策係 0857-20-3134
一般会計		【9次総の施策体系】5104
款 商工費		┃┃ - ┃【予算計上の経過】
項 商工費		┃ 予算事業別概要目次
目 商工業振興費		6月補正予算・P33(経006)
(単位:千円) 当初予算額	0	【事業の概要】 誘致・増設企業をはじめとする市内企業と県内外求職者とのマッチングを効率的に促進し、企業が求める人材の確保並びにUJIターンをさらに促進するため「鳥取市求人・求職マッチング支援
補正予算額 3,	, 127	サイト」の導入及び運用を行う。当該サイトは、市をはじめ関係機関・団体ホームページにリンク等を張り、情報発信の強化に取り組む。
予算流•充用額	0	【事業の成果】 プロポーザル方式による管理運用業務を市内企業に委託 平成26年度 求人登録社数 36社 求人登録件数 37件
最終予算額 3,	, 127 その他財源の内訳	
	分担金 0	】 【今後の課題・方向性】 ■ ア成27年度(運用2年度目)以降は、受託事業者が自主運用する。
本年度決算額 3,	, 125 負担金 0	1%27 干及(建加2干及17 从件16、文配学来18 日工建加 7 0。
	使用料 0	
区 分 決算額		
財 国-県支出金	0 財産収入 0	
源地方價	0 寄付金 0	41
内 その他	0 繰入金 0	41
一般財源 3,	125 諸収入 0	
計 3,	, 125 その他 0][
(参考)	評価 平成26年度をも・	って終了



伝統工芸等後継者育成支援事業費 経033 項 目 名 所 伝統産業等支援事業費 主要な施策 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P120(経031) **目** 商工業振興費 当初予算額 7 680 伝統工芸後継者の受け入れを行う事業者と研修従事者に対し支援を行い、伝統工芸の保存及び活 性化を図る 補正予算額 △ 1, 215 | 『見ら日後の | 県の実施する「ふるさと産業支援事業(後継者育成)補助金」と協調して、後継者の受け入れ事業 | 者と月に15日以上研修に従事する者に対し助成する。(県1/2、市1/2) 予算流·充用額 0 【事業の実績】 2,040千円 1名開始(陶磁器) 平成24年度 平成25年度 3, 240千円 1名開始(和紙) 6, 365千円 4名開始(陶磁器2名、和紙1名、酒造1名) 6, 465 その他財源の内訳 最終予算額 平成26年度 分担金 0 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 6, 365 負担金 0 本市の陶磁器、因州和紙、酒造などの伝統産業は、地域資源を活用した本市特有の産業で、大変 重要な財産であり、引き続き、県とも連携を図りながら、伝統産業の技術の伝承、後継者の育成に 使用料 努めていく。 区分 決算額 手数料 0 国·県支出金 3, 183 財産収入 0 地方債 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 0 -般財源 3, 182 諸収入 計 6,365 その他 (参考) 伝統産業の維持・発展に必要不可欠な事業であり、引き続き継続して事業を行う。 前年度決算額 3, 240



文房四宝まつり事業費 経035 項 目 名 所 名 主要な施策 伝統産業等支援事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P121(経033) **固** 商工業振興費 書斎における四つの宝「筆・硯・和紙・墨」の各産地「広島県熊野町・宮城県石巻市(雄勝町)・ 鳥取県鳥取市・三重県鈴鹿市」が主体となり、四産地持ち回り隔年開催の「文房四宝まつり」参加 で一堂に会し、高度な伝統的技法を用いた伝統工芸に触れることにより豊かな心を育むとともに伝 当初予算額 479 補正予算額 0 統的工芸品の振興を図る。 まつり開催に係る協力産地組合(鳥取県因州和紙協同組合)への補助金 予算流·充用額 3 (2) 行政・産地組合会議への職員の出席 【事業の成果】 その他財源の内訳 482 最終予算額 平成20年度(第15回) 広島県熊野町 平成21年度(第16回) 鳥取県鳥取市 分担金 0 ※「日本のまつり」併催のため1年前倒し 平成24年度(第17回) 宮城県石巻市 平成26年度(第18回) 三重県鈴鹿市 本年度決算額 481 ٥ 負担金 宮城県石巻市 三重県鈴鹿市(平成26年11月22日~24日) 使用料 区分 決算額 手数料 0 【今後の課題・方向性】 他の伝統産業の産地との交流・情報交換は、伝統産業の維持・発展のために必要であり、引き続 国・県支出金 159 財産収入 0 き事業を継続する。 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 -般財源 322 諸収入 0 좕 481 その他 (参考) 2年に一度の開催であり、文房四宝は絶やすことなく伝統産業として継承していくことが必要不可欠である考えることから、現状維持のまま継 続する。 0 前年度決算額



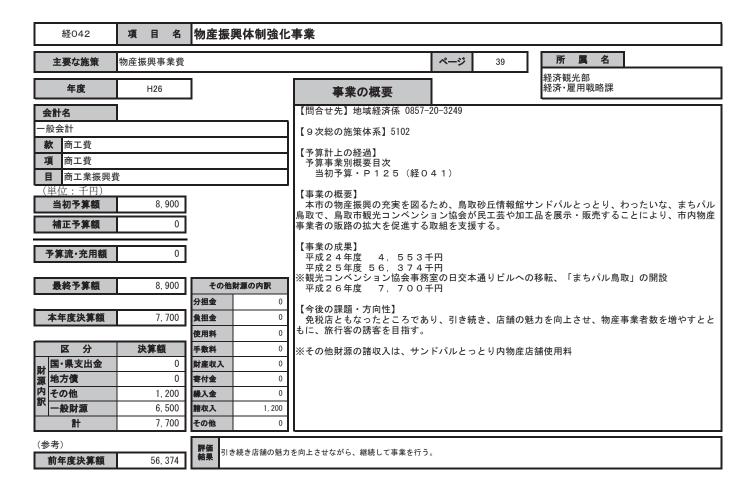
経037 項目 新規創業 · 開業支援事業費 名 所 ページ 主要な施策 新規創業支援事業費 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 会計名 - 船수計 【9次総の施策体系】5103 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P122(経036) **目** 商工業振興費 新規創業や小規模事業者の新分野への進出、地域課題をビジネスの手法で解決するコミュニティ ビジネスの起業に係る経費の一部を支援することにより、地域経済の活性化及び雇用の創出を図 当初予算額 7.000 る。 1 新規創業・開業支援事業 ①新たに起業 補正予算額 0 1 新規創業・開業支援事業
(1)対象者 ①新たに起業を予定している者
②新分野へ進出し、新規開業する小規模事業者
(2)対象事業 小売業、サービス業
(3)対象経費 店舗改装費、広告宣伝費等
(4)補助率 2/3(上限500千円、中心市街地商店街区域等は1,000千円)
2 まちなか・コミュニティビジネス支援事業
(1)対象者 またに見ば、エルス(日) 予算流·充用額 0 7, 000 その他財源の内訳 最終予算額 分担金 2 まつなが・コミューナイレンベルス 仮事来 (1)対象者 市内に居住している個人、団体 (2)対象事業 まちなかの生活の維持・コミュニティの活性化のための起業 (3)対象経費 施設の改修、備品の借り上げ料等 (4)補助率 1/2(県1/3・市1/6) 上限4,500千円 本年度決算額 3, 939 負担金 0 使用料 0 区分 決算額 手数料 【事業の成果】 ・平成26年度 新規創業・開業支援事業 6件 国-県支出金 0 財産収入 0 0 地方債 0 寄付金 0 【今後の課題・方向性】 その他 0 繰入金 起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業に統合・継続 3, 939 諸収入 0 -般財源 3, 939 その他 計 (参考) 起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業に統合・継続 前年度決算額 1,000

経038 項 目 名 花と木のまつり	肩催補助金
主要な施策中小企業・商業活性化対策事業費	ページ 39 所属名
年度 H26	事業の概要 経済・雇用戦略課
会計名 一般会計 数 商工費	【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 【9 次総の施策体系】5102
項 商工費 目 商工業振興費	【予算計上の経過】予算事業別概要目次当初予算・P123(経037)
(単位:千円) 当初予算額 1,513 補正予算額 0	【事業の概要】 花と緑のある豊かな街づくりを目指し、市民の主体的参加による花と木のまつりを開催することを目的とする。 鳥取市花と木のまつり実行委員会に対して補助金を支出。 鳥取市自然保護及び環境保全条例に定める花の日(4月29日)に「花のまつり」及び木の日(11月3日)に「木のまつり」を開催する。
予算流・充用額 0 最終予算額 1,513 その他財源の内駅 分担金	【事業の成果】 平成24年度 1,478千円 (来場者数 68,000人) 平成25年度 1,496千円 (来場者数 50,000人) 平成26年度 1,485千円 (来場者数 62,000人)
使用料	0 【今後の課題・方向性】 今後花や木にちなんだ出展を増やす等により、他の催しと区別し継続する。
関・県支出金 り 財産収入 対度収入	0 0
	0 0 0
(参考) 評価 前 年度決算額 1,496	として認知され、花と木のまつりに併せ、商店街が独自にイベントを開催するなど、商店街の賑わいにつながっている。

経039 項 目 名 商工会補助金 所 中小企業·商業活性化対策事業費 ページ 主要な施策 39 経済観光部 経済・雇用戦略課 年度 H26 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5103 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算・P123(経038) **目** 商工業振興費 当初予算額 25, 805 平成 19年4月1日に商工会が合併し、鳥取市東商工会(国府町、福部町商工会)、鳥取市南商工会(河原町、用瀬町、佐治町商工会)、鳥取市西商工会(気高町、鹿野町、青谷町商工会)の三商工会となった。それらの商工会に対し事業費の一部を補助する。 補正予算額 △ 44 予算流·充用額 △ 46 ・ 三商工会の経営改善普及事業費、地域総合振興事業費に対して助成し、新市域中小企業の経営改善をや地域イベントの実施等地域資源を生かした地域振興を行い、新市域の商工業の振興を図った。 最終予算額 25, 715 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 引き続き、地域の商工業の核となる商工会を支援し、地域商工業の維持・発展を図る必要があ 分担金 0 る。 本年度決算額 25, 320 負担金 0 0 使用料 決算額 0 区分 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 地方債 0 0 寄付金 その他 0 繰入金 0 一般財源 25, 320 諸収入 0 25, 320 その他 計 (参考) 小規模事業者の経営支援等を図り、地域経済の活性化を図るため、引き続き継続して取り組む。 前年度決算額 25, 550

経040 項目名中小企業等支援事	業費
主要な施策 中小企業・商業活性化対策事業費	ページ 39 所属名
年度 H26	経済観光部 経済・雇用戦略課
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 商工業振興費 (単位:千円) 当初予算額 800 補正予算額 0 予算流・充用額 0 本年度決算額 800 本年度決算額 800 佐用料 0 区分 決算額	 【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 【9 次総の施策体系】5102、5103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 1 2 4 (経039) 【事業の概要】 中小企業を対象とした各種研修会の開催、経営指導並びに専門家派遣によるフォローアップ事業を行うため、鳥取県中小企業団体中央会に事業委託する。 (1) 研修会 (2) 支援事業(フォローアップ) ①中小企業等経営革新研修会 ②創業支援研修会 ③コニュニティビジネス研修会 ④連携組織後継者育成研修会 ④連携組織後継者育成研修会 ⑤中小企業レディース研修会 ④創業・経営革新支援 ⑤業種業態転換支援 【事業の成果】 平成24年度 800千円 平成25年度 800千円 平成26年度 800千円 平成26年度 800千円 そ託先:鳥取県中小企業団体中央会
財 国·県支出金 0 財産収入 0 地方債 0 寄付金 0	【今後の課題・方向性】 引き続き委託し、中小企業を対象とした事業を支援する。
内配 0 線入金 0 一般財源 800 請収入 0 計 800 その他 0	
(参考) 評価 前年度決算額 800	る経済情勢に対応するため、地域の活力となる中小企業に対して継続的な支援が必要である。

物産振興事業費 経041 項目 名 所 名 主要な施策 物産振興事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】地域経済係 0857-20-3249 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P124(経040) 目 商工業振興費 当初予算額 1.128 本市の経済活性化を図るため、県外におけるイベント等に参加し、本市の物産の振興に取り組 đ١. 補正予算額 0 【事業の成果】 (1) 尼崎競艇PR事業(平成26年4月19日~20日) 予算流·充用額 Δ 2 (2) よこすかカレーフェスティバル出展事業 (平成26年5月10日~11日) (3) 釧路大漁どんぱく出展事業 (平成26年9月5日~7日) (4) 阪神競馬場PR事業(平成26年9月13日~14日) (5) おかやま桃太郎まつり出展事業(平成26年10月11日~13日) 1, 126 その他財源の内訳 最終予算額 (6) 郡山市交流事業 (平成26年10月18日~19日) 分担金 0 郡山の農業・観光物産展に参加し、鳥取の名産品等の物産販売等を実施(7)大阪市東成区との交流で鹿野町が物産展に参加(平成26年11月2日~3日)(8)関西圏での物産交流事業(平成26年12月20日~21日他) 本年度決算額 865 負担金 0 使用料 関西圏(大阪市東成区等)で開催される各種イベントに参加し、物産販売等を実施 区分 決算額 手数料 0 【今後の課題・方向性】 国·県支出金 0 財産収入 0 姉妹都市交流や様々な都市交流事業を活用しつつ、引き続き本市の物産の販売等に取り組み、物 0 地方債 0 寄付金 産振興を図る。 0 その他 0 繰入金 ·般財源 865 諸収入 0 865 その他 (参考) 引き続き観光・物産をPRする必要がある。 1, 379 前年度決算額



経043 インターネットショップ事業費 項 目 名 名 所 ページ 主要な施策 物産振興事業費 39 経済観光部 年度 H26 経済・雇用戦略課 事業の概要 【問合せ先】商業振興係 0857-20-3222 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P125(経042) **目** 商工業振興費 インターネットショップによる販路拡大・開拓の促進により、本市及び本市の物産のイメージ インターネットショップによる販路拡大・開拓の促進により、本市及び本市の物産のイメージ アップやブランド化を図り、物産振興・産業振興を進める。 ・「とっとり市」の運営経費(月毎のキャンペーン企画やシステム保守費用等) ・在庫管理システム、送料無料化設定等、運営上改修が必要なシステム変更 当初予算額 17, 144 補正予算額 0 予算流·充用額 0 【事業の成果】 《売り上げ実績》 平成24年度 1,955件 9,682千円 平成25年度 2,810件 14,623千円 平成26年度 3,247件 18,559千円 17, 144 その他財源の内訳 最終予算額 分担金 0 【今後の課題・方向性】 より魅力のある商品構成やウェブサイトの作り込みなどを行い、引き続き、加入店舗及び売り上 本年度決算額 16, 982 負担金 0 0 使用料 げの増加を目指す。 区分 決算額 手数料 0 ※その他財源の諸収入は、インターネットショップ出店料 国·県支出金 0 財産収入 0 0 地方價 0 寄付金 1, 805 0 その他 繰入金 一般財源 15, 177 諸収入 1, 805 16, 982 計 その他 (参考) 県内外の新たな顧客獲得に向け、出店舗数の増加やコンテンツの認知を重点とした新たな広報戦略が必要である。 前年度決算額 16, 230

経044	項目名	企業誘致推進費	
主要な施策	企業誘致促進事	業費	ページ 39 所 属 名
年度	H26		事業の概要 経済観光部 企業立地・支援課
会計名	1		【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223
一般会計	•		【9 次総の施策体系】5102
款 商工費			【予算計上の経過】
項 商工費	*		■ 予算事業別概要目次 ■ 当初予算P126(経043)、12月補正P23(経007)
(単位:千円)	₹		J
当初予算額	4, 059		【事業の概要】 本市産業の発展及び雇用確保のため、本市への企業立地を促進し、産業構造の高度化及
補正予算額	383		び雇用機会の拡大を図り、鳥取市経済活性化戦略にある雇用拡大や地元企業の発展につながる新たな企業誘致の実現に向けて取り組む。
		•	[事業の成果]
予算流•充用額	0		企業誘致及び設備投資を推進するため、鳥取県等関係機関と協調して、首都圏・中京圏
自办了物杯	4 440		・関西圏の企業訪問を積極的に展開し、本市への企業進出を働きかけた。 ◇誘致企業件数平成24年度 7社 ◇企業訪問件数 平成24年度 255件
最終予算額	4, 442	その他財源の内訳	▼成25年度 8社 平成25年度 553件 平成26年度 4社 平成26年度 481件
本年度決算額	4, 108	負担金 0	 【今後の課題・方向性】
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	.,	使用料 0	東日本大震災の復興やオリンピック特需等により国内景気が上向く中、鳥取県東部の平
区分	決算額	手数料 0	┃成27年3月の有効求人倍率は1.04倍と回復してきているが、生産工程の職業の有効 ┃求人倍率は0.73倍、正社員の有効求人倍率は0.51倍と依然厳しい状況にある。今
財団・県支出金	0	財産収入 0	■後も企業誘致活動を強力に推進するとともに、正規雇用を含めた好条件の労働環境を提供 ■できる企業にターゲットを絞り、確実に誘致に結び付けていく必要がある。
地方債 内 その他	0	寄付金 0	
お一般財源	4, 108	輸収入 0	
計	4, 108	その他 0	
(参考)			リスク分散によるBCP(事業継続計画)や円安による国内回帰の動きが出てきている。この動きをとらえるべく企業誘致
前年度決算額	4, 171	■ 性理事業を里安は	『業と位置付け、鳥取自動車道の全区間開通や鳥取-羽田便の航空5往復/日等をはじめ河原IC山手工業団地等や充実した支ニ対して情報を発信するとともに、市関西事務所や県と連携を図り、効果的な誘致活動を実施する。

経045 項目 工業団地分譲推進事業費 名 所 ページ 主要な施策 企業誘致促進事業費 39 経済観光部 企業立地·支援課 年度 H26 事業の概要 【問合せ先】工業団地整備係 0857-20-3225 会計名 - 般会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P126(経044) 12月補正·P23(経008) **目** 商工業振興費 【事業の概要】 当初予算額 140, 488 河原インター山手工業団地の整備推進 分譲可能な工業用地不足を解消し企業誘致を戦略的に行うため、新たな工業用地を整備する。 補正予算額 △ 41, 280 【事業の成果】 | 事業の成果] | 河原インター山手工業団地整備 | 平成24年度 | 162,203千円 | 上下水道実施設計 | 上水道工事 | 平成25年度 | 308,329千円 | 上下水道工事 | 平成26年度 | 93,476千円 | 上下水道工事 予算流·充用額 0 その他財源の内訳 最終予算額 99, 208 分担金 0 【今後の課題・方向性】 本年度決算額 93, 476 負担金 0 0 使用料 0 区分 決算額 手数料 国-県支出金 財産収入 0 72, 900 0 地方債 寄付金 0 その他 繰入金 一般財源 20, 576 諸収入 0 93, 476 その他 計 経済情勢が好転しつつある中、新たな設備投資や、BCPによるリスク分散の検討を行う企業もあり、本市にとっては企業誘致の絶好機であり、誘致活動の積極的な取組が求められている。本市の分譲可能な工業用地は不足をきたしている。そこで、企業誘致を戦略的に行うため、その受け皿となる新たな工業団地を整備することにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。 (参考) 前年度決算額 308, 329

経046 項目名	企業立地促進資金	貸付金				
主要な施策 企業誘致促進事	業費		ページ	39	所属名	
年度 H26]	事業の概要			経済観光部 企業立地·支援課	
会計名		【問合せ先】誘致・支援係 0857-2	20-3223			
一般会計		【9次総の施策体系】5102				
款 商工費		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P127(経04	5)			
(単位:千円) 当初予算額 371,368 補正予算額 ム 46,120		【事業の概要】 市内に工場の新増設を行う企業に対して行われる融資に対し、預託を行う。 融資対象者:製造業、電気業、ガス業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、 ソフトウエア業、機械設計業、デザイン業、自然科学研究所、研究開発型 事業 (1)新増設の場合 製造業等・・・ 新規雇用10人以上(中小企業は3人以上) ソフトウエア業・・新規雇用 5人以上 (2)移転の場合 投資額 1億円以上				
予算流·充用額 0						
最終予算額 325, 248 本年度決算額 325, 248	その他財源の内訳 分担金 0 負担金 0 使用料 0	関と協調して低利な貸付制度を実 〈預託件数〉 平成24年度 平成25年度	施した。 23件 24件	高度化及び履	雇用機会の拡大を図るため、金融機	
区 分 決算額	手数料 0	1,22	27件			
財源 国·県支出金 0 地方債 0	財産収入 0 寄付金 0	【今後の課題・方向性】 企業立地・事業拡大の促進に向け、事業を実施する。 ※その他財源の諸収入は、企業立地促進資金融資に係る預託金の償還				
内 その他 325,248	繰入金 0					
一般財源 0	諸収入 325, 248					
# 325, 248	その他 0					
(参考) 前年度決算額 328,524	評価 今後も、工場等の新 結果 用機会の拡大を図る		機関に融資の	一一部を預託)	となる支援制度の実施に努め、企業立地の促進と、雇	

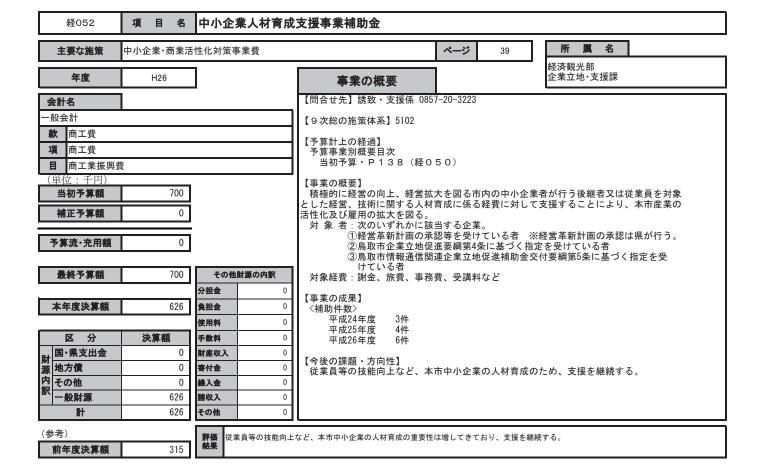
経047 項 目 名 企業立地促進補助金 所 名 主要な施策 企業誘致促進事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 企業立地 支援課 事業の概要 【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223 会計名 【9次総の施策体系】5102 船会計 【予算上の経過】 予算事業別概要目次 款 商工費 当初予算・P127(経046)6月補正・P34(経007) 項 商工費 【事業の概要】 企業の立地を促進し 産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る **固** 商工業振興費 ①鳥取市企業立地促進補助金 対象事業:製造業、自然科学研究所、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業 当初予算額 375.044 補助金額:投資額×(3%又は5%)と正規雇用者数×30万円、常用雇用者数× 補正予算額 121, 042 10万円の合計額 交付条件:地方公共団体が取得・造成した工業団地に立地することなど とに一定の投資額及び新規常用雇用者数に要件あり。 ※対象事業 予算流·充用額 0 ②鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金 対象企業:情報処理・提供サービス業、ソフトウェア業補助金額:専用通信回線使用料及び借室料の1/6の合計額 496.086 その他財源の内訳 最終予算額 補助期間:操業から5年間 ※対象事業ごとに一定の新規常用雇用者数に要件あり 分担金 0 【事業の成果】 本年度決算額 400, 852 ٥ 負担金 ①鳥取市企業立地促進補助金 ②鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金 17件 391,042千円 6社 53,461千円 平成24年度 5件 3,995千円 3社 3,908千円 平成24年度 使用料 平成25年度 平成25年度 区分 決算額 手数料 0 平成26年度 12社 389,050千円 平成26年度 3,845千円 3社 【今後の課題・方向性】 国·県支出金 0 財産収入 0 市民生活を支え、地域経済を活性化していくために雇用機会を確保することは市政の重 地方價 0 寄付金 0 要課題である。市内企業の生産基盤の高度化や競争力の強化を支援するとともに、新規企 業立地を促進することにより雇用創造を図る本事業は、重点を置く施策として拡充を図り その他 0 繰入金 ながら実施する。 ·般財源 400, 852 諸収入 0 좕 400 852 その他 本市の人口増加につなげるためには、市長がマニフェストに掲げる雇用の場の創出は最重要事項である。生活が安定することで結婚・出産に踏 み切る市民も想定され、自然増につながる要因にもなる。企業ニーズに沿って制度を見直しながら支援することで、企業進出や設備投資の後押 しとなるとともに、都市間競争を勝ち抜くことで、地域の活性化につなげていく。 (参考) 57, 369 前年度決算額



賃貸型工場設置補助金 経049 項目 名 所 名 主要な施策 企業誘致促進事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 企業立地 支援課 事業の概要 【問い合わせ先】 誘致・支援係 0857-20-3223 会計名 - 船会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P128 (経048) 目 商工業振興費 【事業の目的及び効果】 当初予算額 370,000 賃貸型工場の立地を支援することにより、企業の立地を推進する。 補正予算額 0 【事業の内容】 補助金 対象事業:賃貸型工場の設置 予算流·充用額 0 補助金額:投資額×100% 【事業の成果】 その他財源の内訳 370.000 最終予算額 補助件数 平成24年度 2件 479,991千円 分担金 0 平成25年度 2件 380,000千円 本年度決算額 370,000 負担金 0 平成26年度 2件 370.000千円 使用料 【今後の課題・方向性】 区分 決算額 手数料 0 本市の重要課題の一つである産業の活性化、雇用機会の拡大のため、企業誘致はもっと も必要な事業である。 国·県支出金 185, 000 財産収入 0 も必要な事業でのる。 進出する企業においては、地域のインフラや雇用環境などをさまざまな角度で検討した 上で進出を決定することになるが、初期投資に要する経費も大きな判断材料となる。本事 業で初期投資を軽減し企業誘致を促すことで、本市の産業の高度化や雇用の拡大を図る。 ただし、本事業を適用する企業については、本市を将来にわたって牽引していくような 0 地方債 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 -般財源 185, 000 諸収入 0 企業を選定して行いたい。 計 370,000 その他 (参考) 本制度は、本市に企業進出を決めてもらう切り札と言える非常に効果的な制度である。しかし、財政負担が大きいため、対象企業の選定にあ たっては将来性を十分に見極め、地域経済をより活性化し雇用創出の拡大が期待できる企業としたい。 380, 000 前年度決算額



ビジネスマッチング支援事業費 経051 目 名 所 主要な施策 中小企業新規開発奨励事業費 ページ 39 経済観光部 年度 H26 企業立地 支援課 事業の概要 【問合せ先】誘致・支援係 0857-20-3223 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5102 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P137(経048) **固** 商工業振興費 【事業の概要】 当初予算額 7.000 自社の商品、製品及び技術等を売り込むため、展示会等への出展及びホームページ作成 に要する経費の一部を補助する。 補正予算額 0 【事業の成果】 中小企業者の販売力及び競争力を向上させ、本市の産業振興を図るため、中小企業等が 予算流·充用額 0 行う商品、製品、技術等の販路開拓事業を支援した。 〈補助件数〉 平成24年度 22件 その他財源の内訳 7.000 最終予算額 平成25年度 22件 平成26年度 25件 分担金 0 本年度決算額 6, 489 0 負担金 【今後の課題・方向性】 展示会出展事業について、海外への出展が増加傾向にあることから支援内容を拡充し、 使用料 0 今後も継続して実施する。 区分 決算額 手数料 0 国・県支出金 0 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 -般財源 6, 489 諸収入 0 6, 489 その他 (参考) ホームページ作成事業について、インターネット導入の必要性等の認識も高くなり一定の効果があったとして本年度をもって終了とし、展示 会出展事業については、海外への出展が増加傾向にあることから支援内容を拡充し、今後も継続して実施する。 前年度決算額 6, 599



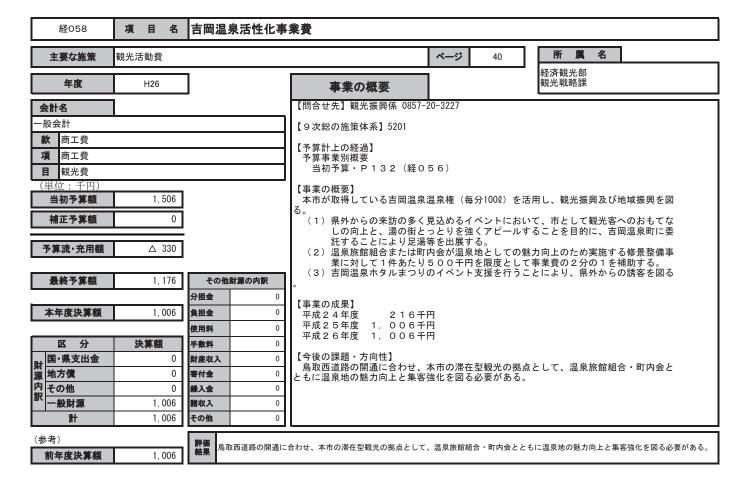
経053 項 目 名 観光活動事業費 所 ページ 主要な施策 観光活動費 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P130(経051) 観光費 目 当初予算額 3, 559 関係団体との連携を密にして観光行政の円滑な推進を図るとともに、首都圏や関西圏等 での積極的な活動を行い、鳥取市でのコンベンション開催の誘致に努めることにより、観 光PRと観光客の増加を図る。 補正予算額 Δ 21 また、HOT連携を推進するため、姫路市、岡山市と連携し3都市への誘客と都市間交 流を図る。 を凶る。 (1)関係団体との連絡調整 (2)コンベンション誘致活動 (3)各種イベントへの郷土芸能団体・しゃんしゃん鈴の音大使等の派遣 (4)HOTトライアングル関連事業 予算流·充用額 81 最終予算額 3, 619 その他財源の内訳 分担金 0 【事業の成果】 本年度決算額 3, 051 負担金 0 平成23年度 2,833千円 平成25年度 2, 633千円 平成25年度 1, 046千円 平成25年度 2, 079千円 平成26年度 3, 051千円 0 使用料 決算額 0 区分 手数料 国-県支出金 0 0 財産収入 【今後の課題・方向性】 関係団体との連携により、今後も観光PRとコンベンション誘致に努め観光客の増加を図 地方債 0 寄付金 0 その他 0 0 繰入金 一般財源 3, 051 諸収入 0 3, 051 その他 計 (参考) 関係団体との連携により、今後も観光PRとコンベンション誘致に努め観光客の増加を図る。 前年度決算額 2, 079

経054	項目名	桜まつり事業委託	費
主要な施策	観光活動費		ページ 40 所 属 名
年度	H26		事業の概要 経済観光部観光戦略課
会計名			【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227
一般会計			【9次総の施策体系】5201
款 商工費 項 商工費			- 【予算計上の経過】 - 予算事業別概要目次
目 観光費			当初予算・P 1 3 0(経 0 5 2)
(単位:千円) 当初予算額 補正予算額	5, 199]]	【事業の概要】
予算流•充用都	1 △ 353	i	【事業の成果】 桜の開花時期に合わせ、ボンボリを鳥取城跡周辺や袋川周辺に設置・点灯し、市民や観 光客の誘客を行うとともに、中心市街地のにぎわい創出を図った。
最終予算額	4, 846	その他財源の内訳 分担金 0	□ ○事業実績 □ 平成24年度 5,601千円 □ 平成25年度 9,357千円
本年度決算額	4, 834	負担金 0 使用料 0	平成26年度 4,834千円 「今後の課題・方向性」
区分	決算額	使用料 0 手数料 0	■■鳥取城跡周辺や中心市街地のにぎわい創出と観光客誘致のため、城跡周辺整備の進捗に
国。旧去出会		財産収入	のわせ (美胞力法を検討する必要がある。
材 <u>国 不及 田 亚</u> 順 地方債	0	寄付金 0	
その他	0	繰入金 0	
一般財源	4, 834	諸収入 0	
Ħ	4, 834	その他 0	
(参考)	9, 358	評価 結果 鳥取城跡周辺や中心	心市街地のにぎわい創出と観光客誘致のため、城跡周辺整備の進捗にあわせて実施方法を検討する必要がある。

経055 項 目 名 観光ボランティア活性化事業費 所 名 主要な施策 観光活動費 ページ 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P131(経053) 目 観光費 本市のホスピタリティの強化とともに、おもてなしの心による観光振興を図る。 (1)観光ボランティアガイド事業 ①観光ボランティアガイド活動事業の支援 ②鳥取市まちめぐりガイドマップの作成 当初予算額 1.671 補正予算額 0 ③観光ボランティアガイド養成事業 予算流·充用額 0 (2) 観光大学事業 (1) 観光マイスター育成事業 (2) 観光マイスター章の作成とテキスト作成 1, 671 その他財源の内訳 最終予算額 ③観光マイスター登録連絡事務 (3) 各地区ガイド事業 分担金 0 本年度決算額 1, 671 0 負担金 【事業の成果】 平成24年度 1,922千円 平成25年度 1,912千円 平成26年度 1,671千円 使用料 0 区分 決算額 手数料 0 国·県支出金 0 財産収入 0 【今後の課題・方向性】 地方價 0 寄付金 0 ホスピタリティ強化のため、今後もガイド・マイスターのすそ野を広げていく必要があ その他 0 繰入金 0 -般財源 1, 671 諸収入 0 1,671 その他 (参考) ホスピタリティ強化のため、今後もガイド・観光マイスターの育成とスキルアップに努める必要がある。 前年度決算額 1, 912



経057	項目名	観光なでしこチーム	ム活動促進事業費
主要な施策	観光活動費		ページ 40 所 属 名
年度	H26]	事 業の概要 経済観光部 観光戦略課
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費 (単位:千円) 当初予算額	360		【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 [9 次総の施策体系】 5201 [予算計上の経過]
神正予算額	0 Δ 36		平成23年度末の「鳥取市観光なでしこチーム」の提言を具体的な施策として展開し、本市の観光入込客の増加につなげるとともに、市内の観光事業者等にチームの取り組み成果を広げることで、地域のおもてなし力の向上を図る。 【事業の成果】 チーム員による湖山池エリアの視察を行い、現状の課題や改善案について意見交換や情報発信を行った。
最終予算額本年度決算額	324	その他財源の内駅 分担金 0 負担金 0 使用料 0	平成25年度 660千円 平成26年度 324千円
区 分 国・県支出金 地方債 内 その他	決算額 0 0 0 324	手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 線入金 0 髂収入 0	チームとしての活動は平成26年度で終了し、活動成果を今後の女性観光客誘致に活用する。
計 計	324	諸収入 0 その他 0	
(参考) 前年度決算額	660	評価 結果	動は平成26年度で終了し、活動成果を今後の女性観光客誘致に活用する。



経059 項 目 名 知名度アップイベント推進事業 所 観光宣伝事業費 ページ 主要な施策 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P133(経057) 目 観光費 当初予算額 8.391 補正予算額 △ 199 【事業の成果】 (1) 首都圏/ヨコハマ砂の彫刻展でのPR (2) 関西圏/ボートレース尼崎、JRA阪神競馬場でのPR (3) 中京圏/旅まつり名古屋でのPR 予算流·充用額 104 最終予算額 8, 296 その他財源の内訳 【今後の課題・方向性】 鳥取県、鳥取県観光連盟と連携して、より宣伝効果の高いイベントへ出展することで本 分担金 0 市の知名度向上と誘客の強化を図る。 本年度決算額 7, 829 負担金 0 0 使用料 決算額 0 区分 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 地方債 0 0 寄付金 その他 0 0 繰入金 一般財源 7, 829 諸収入 0 7, 829 その他 計 (参考) 鳥取県、鳥取県観光連盟と連携して、より宣伝効果の高いイベントへ出展することで本市の知名度向上と誘客の強化を図る。 前年度決算額 7, 838

経060	項目名	宣伝推進事業費	
主要な施策	観光宣伝事業費		ページ 40 所属名
年度	H26		事業の概要 経済観光部 観光戦略課
会計名			【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227
一般会計	•		【 9 次総の施策体系】5201
款 商工費			
項 商工費			【予算計上の経過】 予算事業別概要目次
目 観光費			当初予算·P133 (経058)
(単位:千円)		1	【事業の概要】
当初予算額	22, 764		県外旅行会社に対し、本市の魅力ある観光素材や観光ルート、イベント等を積極的に紹 介し、旅行企画の提案を行い、本市に訪れる観光客の誘客を図る。また、マスコミ・メデ
補正予算額	200		イアへの旬な観光情報を提供し、全国へ情報発信を行う。
		! •	【事業の成果】
予算流•充用額	△ 115		(1) 県外旅行会社プロモーション
			(2) マスコミ・メディアへの情報提供 (3) 観光パンフレット等の製作
最終予算額	22, 849	その他財源の内訳	(2) 300
		分担金 0	【今後の課題・方向性】 鳥取因幡観光ネットワーク協議会や鳥取市観光コンベンション協会と連携して着地型観
本年度決算額	22, 761	負担金 0	光商品の造成を進めており、県外旅行業者やメディアへの情報発信を通じて販売強化につ
		使用料 0	なげる必要がある。
区分	決算額	手数料 0	
財団・県支出金	0	財産収入 0	※その他財源の諸収入は、鳥取砂丘砂の美術館オフィシャルスポンサー料
地方債	0	寄付金 0	
内 その他 訳	2, 500	繰入金 0	
"\ 一般財源	20, 261	諸収入 2,500	
計	22, 761	その他 0	
(参考)			ワーク協議会や鳥取市観光コンベンション協会と連携して着地型観光商品の造成を進めており、県外旅行業者やメディアへ
前丘皮決質額	26 121	結果 の情報発信を通じて	販売強化につなげる必要がある。

26, 121

前年度決算額

経061 項目 名 姫路お城まつり派遣事業費 所 ページ 観光宣伝事業費 主要な施策 40 経済観光部 観光戦略課 年度 H26 事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算・P134(経059) 目 観光費 本市の郷土芸能「しゃんしゃん傘踊り」を派遣し、本市の観光宣伝および姉妹都市姫路 市との交流を深める。 当初予算額 207 補正予算額 0 【事業の成果】 しゃんしゃん傘踊りを派遣し、第65回姫路お城まつりで行われるパレードに参加した。 平成22年度 211千円 平成23年度 189千円 予算流·充用額 △ 187 平成24年度平成25年度 2 1 0 千円 最終予算額 その他財源の内訳 20 8千円 平成26年度 4千円 分担金 0 本年度決算額 【今後の課題・方向性】 姉妹都市と連携した観光PR事業であり、継続して取り組む 4 負担金 0 0 使用料 決算額 手數料 0 区分 国-県支出金 財産収入 0 0 寄付金 地方債 0 0 その他 0 繰入金 0 一般財源 4 諸収入 0 4 その他 計 (参考) 姉妹都市と連携した観光PR事業であり、継続して取り組む 前年度決算額 8

主要な施策 観光宣伝事業費	名
年度 H26 事業の概要 観光戦略課	
会計名 【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227	
一般会計 【9次総の施策体系】5201	
項 商工費	o) 10 P#T
当初予算・P134(経060)、6月補正予算・P35(経009) 予算・P24(経009)	9)、12月補止
(単位:千円) 当初予算額 34.538 【事業の概要】	
東アジア市場をはじめとする環日本海諸国における本市の知名度をアッ	ップさせ、外国人
横正予算額 3,956 観光客の受入体制の整備、効果的な誘客宣伝・広報活動を行うことにより 光を推進し、地域経済活性化を図る。	り、本市の国際観
予算流・充用額 1,969 (1) 国際観光推進コーディネーターの配置 (2) 国際観光博出展、海外メディア広告等	
(3) 国際観光客サポートセンターの運営 (4) 海外プロモーションの展開	
最終予算額 40,463 その他財源の内駅 (5) 国際チャーター便誘致事業 (6) 二次交通支援事業	
NEE O	
本年度決算額 40,411 負担金 0 [事業の成果] 平成24年度 36,003千円	
平成25年度 36,606千円	
区分 決算額 平成26年度 40,411千円	
国・果支出金 6,004 財産収入 0 地方債 8付金 0 1 (今後の課題・方向性) 1 5 5 1 5 6 2 6 6 0 3 6 6 0 4 6 0 0 5 6 0 0 5 6 0 0 6 0 0 0 8 0 0 9 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 2 0 0 2 0 0 3 0 0 4 0 0 5 0 0 6 0 0 8 0 0 9 0 0 9 0 0	
源 ^{20万}代 0	し、入込増につな
計 40,411 その他 0	
(参考) 評価	ていく必要がある。

経063 項 目 名 観光協会等補助金 所 各種団体補助金負担金 ページ 主要な施策 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算・P135(経061) 目 観光費 本市観光事業の健全なる伸展を目的に組織されている(社)鳥取市観光コンベンション協会の運営に要する経費を補助することにより、事業の円滑な運営を推進し、もって本市 当初予算額 37, 142 補正予算額 0 の観光振興を図る。 〇補助金交付予定先 (社) 鳥取市観光コンベンション協会 0 予算流·充用額 【事業の成果】 平成24年度 39,483千円 平成25年度 38,208千円 平成26年度 37,142千円 最終予算額 37, 142 その他財源の内訳 分担金 0 本年度決算額 37, 142 負担金 0 【今後の課題・方向性】 協会の自立的運営を進めるため、着地型観光商品の造成・販売等の収益部門を強化する 0 使用料 決算額 0 区分 手数料 国·県支出金 0 0 財産収入 地方債 0 寄付金 その他 36, 053 36, 053 繰入金 一般財源 1, 089 諸収入 37, 142 その他 計 (参考) 協会の自立的運営を進めるため、着地型観光商品の造成・販売等の収益部門を強化する必要がある 前年度決算額 38, 208

	経064	項目名	しゃんしゃん祭振男	具会補助金
	主要な施策	各種団体補助金質	負担金	ページ 40 所属名
	年度	H26		事業の概要 経済観光部 観光戦略課
	計名	1		【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227
"	收会計 • 1			【9 次総の施策体系】5201
現				【予算計上の経過】 予算事業別概要目次
E	観光費			当初予算・P135(経062)、6月補正予算・P35(経010)
<u>()</u>	単位:千円) 当初予算額	32, 333	,	【事業の概要】 昭和40年に始まった鳥取しゃんしゃん祭は、鳥取の夏の一大イベントとして定着して おり、毎年多くの踊り子と観客で賑わっている。今後、より一層の全国的認知度を高めて
	補正予算額	8, 073		いくための祭りとして活性化を図る。 平成26年度は、第50回記念大会として、記念事業の実施や観客用桟敷席の設置など 、祭りの魅力を高めて日本の祭りへの定着を図り、更なる県外からの誘客を推進する。
7	を算流・充用額	△ 997		【事業の成果】
	最終予算額	39, 409	その他財源の内訳 分担金 0	■ 平成24年度 20,544千円 平成25年度 26,168千円 平成26年度 39,398千円
7	本年度決算額	39, 398	負担金 0	【今後の課題・方向性】
			使用料 0	入込客と観光消費の増加に繋げるため、今後も祭りの魅力と知名度を高めていく必要が ある
	区分	決算額	手数料 0	
87	国•県支出金	0	財産収入 0	
源	地方債	0	寄付金 0	
別訳	その他	0	繰入金 0	
	一般財源	39, 398	諸収入 0	
	計	39, 398	その他 0	
(参	考) 前年度決算額	26 168	評価 結果 入込客と観光消費の	D増加も視野に入れ、参加者がより盛り上がるよう、今後も祭りの魅力と知名度を高めていく必要がある

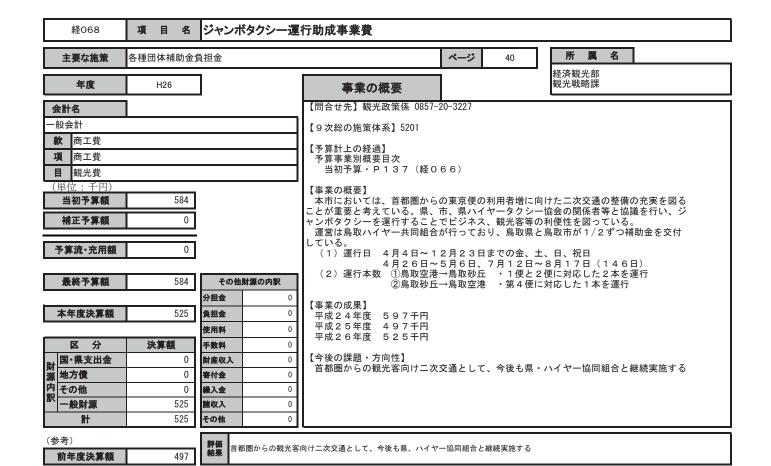
26, 168

前年度決算額

経065 項目 名 コンベンション誘致支援事業費 所 各種団体補助金負担金 ページ 主要な施策 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 会計名 -般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P136(経63) 目 観光費 本市で開催が決定したコンベンションの主催者に対し助成金を交付することにより、本市でのコンベンション推進と観光振興を図る。 延べ宿泊人数200人未満の小規模コンベンションについて、本市内開催分について補助金制度を設け、コンベンションの種類に応じて予算の範囲内で補助金を交付する。なお、事業実施については、鳥取市観光コンベンション協会に間接補助をする形態とする。 当初予算額 6, 650 補正予算額 0 予算流·充用額 0 【事業の成果】 3,375千円 10,506千円 6,284千円 平成24年度平成25年度 最終予算額 6, 650 その他財源の内訳 平成26年度 分担金 0 本年度決算額 6, 284 負担金 0 【今後の課題・方向性】 本市の宿泊環境等を勘案しつつ、適正規模の大会をより多く受け入れられるよう、大会 主催者への営業を強化する必要がある 0 使用料 0 区分 決算額 手数料 国-県支出金 0 0 財産収入 寄付金 地方債 0 0 繰入金 0 その他 0 一般財源 6, 284 諸収入 0 6, 284 その他 計 (参考) 本市の宿泊環境等を勘案しつつ、適正規模の大会をより多く受け入れられるよう、大会主催者への営業を強化する必要がある 前年度決算額 10, 506

経066	項目名	ループバス運行支	援助成費			
主要な施策	各種団体補助金貨	負担金		ページ	40	所属名
年度	H26]	事業の概要			経済観光部 観光戦略課
会計名	1		【問合せ先】観光政策係 0857-2	0-3227		
一般会計			【9次総の施策体系】5201			
款 商工費			 【予算計上の経過】			
項 商工費			→ 予算事業別概要目次 → 当初予算・P136(経6)	4) e =	9 妹正圣符, D.	26(级011)
目 観光費 (単位:千円)				+/ 、 0	17冊正ア昇・P、	S O (程 O I I /
当初予算額	6, 204		【事業の概要】 「ループ麒麟獅子」は、鳥取市「	内観光地を	と巡る周遊バス。	として、JR鳥取駅を基点とする
補正予算額	615					らJR鳥取駅、鳥取砂丘、賀露港 現光活性化に重要な役割を果たし
11022 7 97 100			ている。	ク圧口では	1341 C C 03 7 ()	5万元日日101年至安区内で末にし
予算流·充用額	0		【事業の成果】			
			平成24年度 5,395千F 平成25年度 6,608千F			
最終予算額	6, 819	その他財源の内訳	平成26年度 4,138千F 〇補助金交付先	9 3 (), 888人	
本年度決算額	4. 138	分担金 0 負担金 0	鳥取市観光コンベンション			
平十及次异银	4, 136	使用料 0	【今後の課題・方向性】			
区分	決算額	手数料 0	老朽化により現行車両での運行	うは平成2	7年度までとし、	新たな運行方法を検討中
財団・県支出金	0	財産収入 0				
源 地万價	0	寄付金 0				
内 その他 ま	0 4, 138	緑入金 0				
一般財源 計	4, 138	諸収入 0 その 他 0				
	1, 100	, ,				
(参考) 前年度決算額	6, 608	評価 老朽化した現行車両	jでの運行は平成27年度までとし、新たなj	重行方法を核	食討する	
刑干及次昇發	0, 008					

観光イベント開催補助金 経067 項 目 名 所 主要な施策 各種団体補助金負担金 ページ 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-20-3227 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P137(経065) 目 観光費 地域や団体などが中心となって、魅力あふれる地域の伝統文化や歴史に因んだイベントを開催している。その各種観光イベントを支援することにより、全国に観光鳥取を情報発信し、観光客の誘致を図る。 当初予算額 6.334 補正予算額 0 ・市民納涼花火大会 ・鳥取三十二万石お城まつり 予算流·充用額 0 ふるさと鳥取桜まつり ・青い鳥コンサート 6, 334 その他財源の内訳 最終予算額 【事業の成果】 観客動員数 分担金 0 (1)市民納涼花火大会 H24 130,000人 H25 130,000人 H26 130,000人 (2)鳥取三十二万石お城まつり H24 27,000人 H25 10,000人 H26 12,047人 (3)ふるさと鳥取桜まつり H24 8,000人 H25 500人 H26 2,200人 本年度決算額 6, 334 0 負担金 使用料 区分 決算額 手数料 0 【今後の課題・方向性】 ・各イベントの趣旨と期待される効果、その評価指標を市と主催者とで確認し、支援効果 を高めるよう努める必要がある。 国·県支出金 0 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 -般財源 6, 334 諸収入 0 6, 334 その他 (参考) 各イベントの趣旨と期待される効果、その評価指標を市と主催者とで確認し、支援効果を高めるよう努める必要がある。 6, 219 前年度決算額



経069 項目名	因幡地域周遊バス	運行支援助成費		
主要な施策 各種団体補助金	負担金		ページ 40	所属名
年度 H26]	事業の概要]	経済観光部 観光戦略課
会計名 一般会計 款 商工費 項 商工費 目 観光費 (単位:千円) 当初予算額 0 補正予算額 1,000		る。	0 1 2) して個人観光客を対象に	ニツアーバスを運行し誘客促進を図 F 思海550欠よ で スニカス 見かい
予算流·充用額 0 最終予算額 1,000	その他財源の内訳 分担金 0	県中部地域との連携を図り、県 【事業の成果】 鳥取市観光コンベンション協 運行期間 平成26年7月6 運行回数 25回(毎週日曜	内広域周遊観光を促進す 会が運行する「因幡地塚 日~11月30日	成周遊バス」の経費を支援した。
本年度決算額 784	負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 総入金 0 諸収入 0 その他 0	【今後の課題・方向性】 いなば温泉郷協議会、とっと 部の宿泊施設、観光施設と連携		光協議会をはじめとする県東部・中 品造成と誘客に繋げる。
(参考) 前年度決算額 0			をはじめとする県東部・中部	の宿泊施設、観光施設と連携したPRを行い、宿泊商品

経070	項 目 名 観光地施設整	備事業費
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ 40 所 属 名
年度	H26	事業の概要 経済観光部 観光戦略課
会計名 - 般会計	8, 351	【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 【9 次総の施策体系】5201 【予算計上の経過】
補正予算額 予算流·充用額	1, 085	(1) 施設等の管理・清掃業務 (2) 遊歩道等の管理・清掃業務 (3) 施設の修繕 【事業の成果】 平成24年度 9,238千円 平成25年度 8,866千円
本年度決算額 区分	9,531 その他財源の内! 分担金 9,099 負担金 使用料 手数料	平成26年度 9,099千円 0 0 0 309 0 平成26年度 9,099千円 【今後の課題・方向性】 観光地のイメージアップのため、今後も景観維持に取り組む必要がある。
財 国・県支出金 源 地方債 内 その他 一般財源 計	0 0 309 8,790 9,099 財産収入 審付金 繰入金 踏収入 その他	0 0 0 0
(参考) 前年度決算額	評価 観光地のイメ	ージアップのため、今後も景観維持に取り組む必要がある。

観光サイン設置事業費 経071 項 目 名 所 主要な施策 観光施設整備事業費 ページ 40 経済観光部 年度 H26 観光戦略課 事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-20-3227 会計名 ·般会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算·P138(経068) 目 観光費 当初予算額 2.000 市内全域の観光案内看板及び誘導看板等の整備を行い、観光情報発信及びスムーズな観 光客の誘導を行うことを目的とする。 (1)外国人観光客誘致促進に対応するため、主要な観光案内看板を外国語表記に更新 (2)効果的かつ効率的な観光案内を行うため、既存の観光看板の更新 補正予算額 0 (3) 老朽化した観光看板の修繕 予算流·充用額 0 【事業の成果】 平成24年度 3,054千円 平成25年度 1,808千円 平成26年度 1,984千円 2, 000 その他財源の内訳 最終予算額 平成25年度 分担金 0 本年度決算額 1, 984 0 負担金 【今後の課題・方向性】 ・ 観光インフラの基本的部分であり、今後も適切な管理を行う必要がある。 使用料 0 区分 決算額 手数料 0 国·県支出金 600 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 0 繰入金 0 1, 384 諸収入 -般財源 0 1, 984 その他 (参考) 観光インフラの基本的部分であり、今後も適切な管理を行う必要がある 前年度決算額 1, 808



砂像製作事業費 経073 項目 名 所 ページ 主要な施策 観光活動費 40 経済観光部 年度 H26 鳥取砂斤・ジオパーク推進課 事業の概要 【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036 会計名 - 船수計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 3年末7月18日 (経070)、6月補正予算・P39(経017) 12月補正予算・P24(経010) 目 観光費 当初予算額 137, 173 【事業の概要】 補正予算額 32, 274 及び展示。 <砂の美術館開催> 来場者数 予算流·充用額 35 平成24年度 第 5 期展示 平成25年度 第 6 期展示 平成26年度 第 7 期展示 砂で世界旅行・イギリス 砂で世界旅行・東南アジア編 砂で世界旅行・ロシア編 526,768人 268日 555.355人 261 H 464,377人 261日 その他財源の内訳 最終予算額 169. 482 【事業の成果】 分担金 0 砂の美術館第7期展示関連イベント開催(公開製作、3Dプロジェクションマッピング2回)砂の美術館第7期展示経済効果 112億2千万円 宣伝効果 4億5千万円砂の美術館第8期展示開催準備(砂像制作・展示準備) 本年度決算額 168, 200 負担金 0 168, 200 使用料 平成24年度 107,992千円 平成25年度 115,121千円 区分 決算額 手数料 0 平成26年度 168,200千円 国-県支出金 0 財産収入 0 0 地方債 0 寄付金 【今後の課題・方向性】 0 砂像の展示や集客イベント、満足度向上に向けた各種環境整備等の実施を通じて県外客 その他 168, 200 繰入金 訳 の滞在型観光の促進による地域経済の活性化や市民の更なる来場促進を図る。 諸収入 0 一般財源 168, 200 計 その他 世界初の砂像展示専門の美術館という唯一無二の特性を最大限に活かし、世界トップレベルの砂像彫刻家により制作される"砂像"の魅力を最大限に発信し、「砂像のまち鳥取市」の積極的な推進を図る。また、指定管理者の更新に向けて、利用料金制への移行など砂の美術館の運営スキームを検討し、より効率的かつ積極的な事業の遂行を考えていく必要がある。 (参考) 前年度決算額 115, 121

経074	項目名	「砂像の	まち鳥取」	惟進事業費						
主要な施策	観光宣伝事業費				ページ	40	所属名			
年度	H26			事業の概要			経済観光部 鳥取砂丘・ジオパーク推進課			
会計名	1			【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパ・	一ク推進詞	果 0857-20-303	36			
一般会計				【9次総の施策体系】5201						
款 商工費				【予算計上の経過】						
項 商工費				予算事業別概要目次 当初予算・P140(経0	7 1)					
目 観光費 (単位:千円)					/ 1 /					
当初予算額	4, 030			【事業の概要】 鳥取市の新たな観光ブランド。	となった「	砂像」を広くア	ピールし、砂像文化を市民ととも			
補正予算額	0			鳥取市の新たな観光ブランドとなった「砂像」を広くアピールし、砂像文化を市民とともに育み、「砂像のまち鳥取市」を県外客や市民に広く発信する。						
加工了升版	Ů	1		【事業の成果】						
予算流•充用額	0						に全面協力し、鳥取砂の美術館を首都圏に フンダーランド」にて砂の美術館のPRブースを設 ┃			
				置し、関西圏へのPRを行った。 平成23年度 5.525千円	,					
最終予算額	4, 030	その他	財源の内訳	平成24年度 11,610千円						
		分担金	0	平成25年度 5,522千円 平成26年度 3,526千円						
本年度決算額	3, 526	負担金	0	【今後の課題・左向性】 孙偽!	こかするま	5 民音識の再な	:る向上と県外にまだ十分浸透して			
区分	決算額	使用料 手数料	0	いない砂の美術館や砂像の魅力						
国。旧支出会	次昇祖	財産収入	0							
財地方債	0	寄付金	0							
内その他	0	繰入金	0							
一般財源	3, 526	諸収入	0							
計	3, 526	その他	0							
(参考)		評価 「砂	像のまち鳥取」	の推進に関しては砂の美術館を中心に砂	象を活かした	たまちづくりの推済	性が基本となる。 外での砂像の制作・展示も砂の美術館への誘客と合わ			
前年度決算額	5, 522			参画が図れるための取組の強化と本市へ <u>)</u> に展開していく必要がある。	せい の筋合て	「凶るへ、乐円?	r Cの砂像の前1F・放小も物の実術能への誘各と音わ			

経075 項 目 名 砂の美術館管理運営費 所 名 主要な施策 観光施設整備事業費 ページ 40 経済観光部 年度 H26 鳥取砂斤・ジオパーク推進課 事業の概要 【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036 会計名 船会計 【9次総の施策体系】5201 款 商工費 【予算計上の経過】 項 商工費 予算事業別概要目次 当初予算・P140(経072)、6月補正予算・P39(経018) 目 観光費 当初予算額 101, 116 観光情報発信施設として整備した鳥取砂丘情報館サンドパルとっとりは、平成17年4 にオープンし、砂丘を訪れる観光客に様々な観光情報を提供している。 平成17年10月から指定管理者制度へ移行し、平成20年度からは「砂の美術館」管 補正予算額 2, 968 理運営業務も行っている。 予算流·充用額 10 【事業の成果】 指定管理者制度導入で、管理経費の縮減と民間知識活用によるサービスの向上を図り、 地域産業の発展と観光の振興に寄与している。 指定管理者・(一社)鳥取市観光コンベンション協会 その他財源の内訳 104.094 最終予算額 平成24年度 77,904千円 平成25年度 85,012千円 分担金 0 本年度決算額 103, 711 ٥ 負担金 平成26年度 103.711千円 使用料 61, 526 【今後の課題・方向性】 区分 決算額 手数料 0 砂の美術館と鳥取砂丘情報館のより一層の一体的かつ戦略的な管理運営を図るべく、こ れまで以上の顧客満足度向上のための館内環境の充実や人材の養成などが求められる 国・県支出金 0 財産収入 0 地方價 0 寄付金 0 その他 61, 526 繰入金 0 -般財源 42, 185 諸収入 0 좕 103, 711 その他 (参考) 鳥取砂丘情報館と砂の美術館はいずれも本市を代表する観光地「鳥取砂丘」にあり、注目度の非常に高い施設である。指定管理者制度の導入に より管理コストの縮滅はもちろん、サービスの提供による顧客満足度の向上など、より一層の充実が求められる。 85, 012 前年度決算額



山陰海岸ジオパーク事業費 経077 目 名 所 山陰海岸ジオパーク事業費 ページ 主要な施策 40 経済観光部 年度 H26 鳥取砂斤・ジオパーク推進課 事業の概要 【問合せ先】鳥取砂丘・ジオパーク推進課 0857-20-3036 会計名 【9次総の施策体系】5201 - 船수計 【予算計上の経過】 款 商工費 予算事業別概要目次 項 商工費 当初予算・P 1 4 1 (経 0 7 4)、 6月補正予算・P 4 0 (経 0 1 9) 1 2 月補正予算・P 2 5 (経 0 1 1) 目 観光費 当初予算額 29. 298 山陰海岸ジオパーク推進のため、保護・保全、教育、産業振興、観光振興、情報収集 ・発信に関する各種取組み 既存エリアの世界ジオパーク再認定及び拡大エリアの新規認定に向けた取組み 補正予算額 12, 405 拡大エリアに山陰海岸ジオパーク拠点施設整備(鳥取市あおや郷土館) 予算流·充用額 0 【事業の成果】
1 山陰海岸ジオパークは4年毎に行われる世界ジオパークの審査を受け、平成26年9月世界ジオパークに再認定された。併せて拡大エリアも新規認定を果たした。(エリア拡大地域:旧気高郡の全域、旧鳥取市及び旧河原町の一部) その他財源の内訳 最終予算額 41. 703 拡大エリアの青谷地域を山陰海岸ジオパークの最西端(入口)と位置付け、あおや郷土館に常 分担金 0 設のジオパーク展示コーナーを設置し、山陰海岸ジオパーク及び青谷地域の魅力を情報発信し、学 歌のシオハーク展ポコーナーで ぶことができるようになった。 平成24年度 22,771千円 平成25年度 23,727千円 平成26年度 39,848千円 本年度決算額 39, 848 負担金 0 0 使用料 0 区分 決算額 手数料 国·県支出金 7, 815 財産収入 0 【今後の課題・方向性】 0 地方債 5, 300 寄付金 平成27年度は、第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムが 26, 731 開催されるため、各種取組みの強化と併せて参加者の受入れ態勢向上の準備が必要。 その他 26, 733 繰入金 訳 諸収入 一般財源 ※その他財源の諸収入は、鳥取砂丘ジオパークセンター余剰電力売電料 39, 848 計 その他

平成26年山陰海岸ジオパークは世界ジオパーク再認定及び拡大エリアの新規認定を果たしたが、まだまだジオパークを活用した経済効果を高 めるための投資環境や、周辺地域での認知度、ガイド等の受入れ態勢が満足ではないと判断している。今後さらに取組みを強化し、平成27年 に開催される第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムに成功し、さらなる飛躍を目指したい。 前年度決算額 23, 727